京城日報
朝刊
發行所 京城府太平通一丁目三十一番地 合資會社京城日報社
編輯兼發行人 高宮太平　印刷人 仲野豐

米兩公使任命 【リスボン廿八日同盟】アメリカ政府は廿八日レー・アサートンをカナダ駐在公使に前モスコー大使館參事官ロイ・ヘンダーソンをイラク公使に任命した旨發表した

將兵一丸となり 敵飛行場に散華
辭世"男子われは防人"

大東亞戰爭は愈々苛烈なる決戰の段階に入り前線におけるわが將兵はあらゆる惡條件を克服して敵の執拗なる反攻に對し勇猛果敢なる激戰を續け米英擊滅に邁進しつゝあるが、こゝに昭和十七年十月ガダルカナル島北岸タサワロングに敵前上陸を敢行したわが那須、古宮兩部隊長の奮戰の模樣が森川陸軍報道班員によつてもたらされた、右部隊はルンガ河地帶にある敵の飛行場を叩き潰すため優勢なる敵と交戰しかつ人跡未踏の密林地帶にマラリヤに冒され激しい下痢にかかるなど戰苦につくし難き擔獨と戰ひ克く頑敵を擊碎し皇軍の威武を發揮した、特に那須、古宮兩部隊長は敵の有力部隊の砲擊に曝されながら孤軍奮鬪をつづけるわが軍の士氣と團結を愈々强烈ならしめつゝあつたが、遂に那須部隊長 陣頭に斃れるや殘つた古宮部隊長は將兵とともに敵陣中に斬り込み、その使命を完うして日本武士道の精華を遺憾なく發揮したもので、その壯烈鬼神をも哭かしむる勇戰奮鬪ぶりはアツツ島におけるわが勇士の玉碎ぶりにも劣らぬものがある

日本武士道の精華
那須・古宮兩部隊長ガ島血戰記

那須部隊長

古宮部隊長

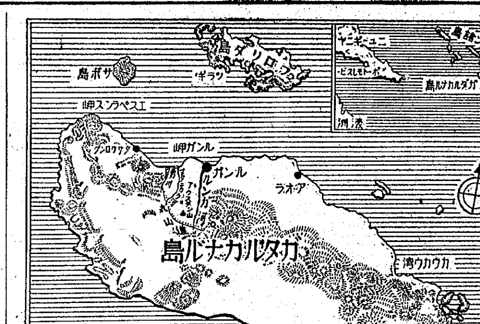
敵背を衝くは劍道の達人 【陸軍報道班員森川賢司發】

人跡未踏のジャングル內は異樣な程暗き大木が亭々と天をつき、千古の謎を秘め、なんとなく神秘的な空氣が靜寂な中に漂つてゐた、前も後も左も右も大木と大木、蔓と蔓に被はれて薄暗く、見上ぐれば一點の青空さへ見えない物凄さといはうか恐ろしさといはうか、無言の大自然がひた〳〵と全身を襲うて思はず肌を粟立たしめる、さらにまた地上には巨大な木の根が蛸の足のやうに八方に擴がり無氣味なことは夥しかつた、

異樣なほど暗いこの大密林地帶に前進してゐるのはわが軍の精銳古宮部隊であつた、かつては陸軍士官學校の教官として多くの青年將校を訓育し一方劍道の達人としてその威名を謳はれた部隊長古宮大佐は廿何貫の堂々たる巨軀を陣頭に進め磁石と地圖、空中寫眞とを睨み合せて方角を定め自ら指揮をとつてゐた、昭和十七年十月〇日拂曉古宮部隊はガダルカナル島北岸タサワロングへ敵前强行上陸を敢行するやルンガ河下流地帶にある敵の飛行場を叩き潰すため道なき密林地帶を切り拓き敵の背後に迫りつゝあつたのだ

日本軍の上陸を極度に恐れた敵は拂曉時から薄暮時にかけて間斷なく飛行機を飛ばし艦艇と協力して海岸線一帶を嚴重警戒してゐた當時の敵情はルンガ河の西クマ高地からヒヨウ高地にかけて堅固なる陣地を構築し掩蓋銃座をつくり、散兵壕を掘り、幾重もの鐵條網をはりめぐらし、さらに彼らの陣地は飛行場を包圍するやうに構築されてゐた、砲兵陣地は飛行場の北側、海岸に沿うて占領し、高射砲陣地はヒヨウ高地の東北部と西海岸附近にあるらしかつた、敵は刻々と兵力を增し機材を揚陸し密林地帶や椰子林を燒き拂ひ陣地構築に狂奔してゐた

かうして彼らは近代科學兵器の多數に依存し火力發揚に全力を傾注し豐富なる彈藥の使用によつてわが軍の攻擊力を破碎せんと企圖してゐるらしく思はれた、また敵はわが軍の擱座や密林彈藥の揚陸を極度に恐れグラマンP三九などの戰鬪機をもつて海岸線を飛び廻り揚陸地と思はれる箇所には盲彈の雨を降らせ少しでも怪しいと思はれる密林地帶にも惜氣もなく爆彈を叩きつけた、敵飛行場附近はガーグル少將の指揮する海兵隊で警備してゐたが、最近日一日と增兵が上陸しその兵が一萬五千と云はれてゐる



日本軍人だ、東北健兒だ

古宮部隊は今この大敵をアウステン山の嶮崖を迂廻し背後より突入殲滅せよと進擊を續けてゐるのであつた、時には部隊長自ら鉈を振つて太い蔓を切り、鋸をとつて莿を刈りとり、道を拓いてゐた、夜の密林地帶は一寸先も見えない、時は南海の雨季である、白い霧が密林地帶を游ぐやうな速さで包むと天地を覆へしたやうな物凄い大豪雨が暴風雨を思はせる音を立てゝ密林地帶を叩きつけた、濁水は忽ち河となつて滔々と地上を流れる

この大豪雨は一日に二、三回必ず襲つて來た、部隊長はじめ將兵たちの軍服は上陸以來乾いたことがない、何時もびしよぬれでずぼんの膝あたりは莿のためにほとんど破れ半ずぼんのやうになつてゐる

『日本の軍人だツ、東北健兒だツ、こんなことにへこたれるな』部隊長は自ら部下を激勵し相變らず陣頭に立ちて莿の道を切り開いた顏や脚は傷だらけになり、そこから血潮が吹き出してゐる、部隊長のこの苦鬪ぶりを目擊してゐる部下たちは幾度となく後退を迫つたが『大丈夫ぢや、心配するな』と豪快に笑つて相變らず密林と戰ひ續けてゐた、十月〇〇部隊はやうやく勇川の邊りに達した

敵の眞正面である、背後を衝く部隊の行動を敵に察知されては上陸以來不眠不休の苦心も水泡になると考へた部隊長は中隊長勝股大尉を呼んで地點を示し前面の高地占領を命じた、勝股大尉は部下とともに地圖を唯一の賴りとし密林地帶を通り、苦心の結果草原高地を占領し、それ〳〵兵を配置して警戒に任じてゐた、しばらくすると杖をもつた部隊長が單身ひよつこりこの陣地に姿を現はした『勝股大尉、この高地はちよつとをかしいぞ』部隊長の頭では圖上の草原高地を占領すれば敵の陣地が一眸の下に見下せるものとのみ思つてゐたのに前も左右も草原の高地が起伏して密林以外に何も見えなかつた『勝股大尉、やはりこゝは違ふぞ』しばらく地圖をみつめてゐた部隊長はかういつて大尉をふりかへつた

『前面のある高地ぢやよ、一緒に來て見』『部隊長殿、勝股がまゐります、部隊長殿は大切なお身體だ』大尉は自分の見當違ひを深く悔ゆるとともに部隊長自身を煩はすことは勿體ないと堪へなかつた『なんのわしは將校斥候ぢやよ』と愉快さうに大きく笑ふと大尉を誘へ密林の谷へ降り、また登つて目的の草原高地へ出た『こゝぢやこゝぢや』この高地から見れば敵の陣地は一眸の下に開けてゐた、ルンガ河はその間を帶のやうに北流してゐた、ふりかへれば勇川のほとりも眼下にあり、わが陣地まで手にとるやうに見えた

『のう勝股大尉、この高地さへ抑へれば』部隊長は滿足さうに笑ひ『なほあの高地も一つ』と右手の草原高地を指した

明拂曉を期し戰鬪體形へ

再び部隊長は草をかきわけ磁石と地圖を賴りに第二の目的高地へ進んだ、後に從つてゐる勝股大尉は有難いやら勿體ないやらで幾度も咽喉をならし、この部隊長の生きた教訓をしつかりと頭の中へ叩きこんだ、この二つの高地は九〇三、九九〇の高地と稱しその後味方の作戰に非常に有利な地點となつたのである、〇日部隊は勇川上流に集結した、愈々部隊は戰鬪體形をとつてアウステン山の背後を廻り一擧に敵陣へ突入するのだ、その夕刻部隊長は幹部以下中隊長たちを集めた

部隊は愈々明拂曉を期し戰鬪體形をとつて前進する、各隊はそれぞれ任務を自覺し、勇往邁進せよ、誓つて先輩が輝かした部隊の歷史を穢してはならぬ、東北健兒の本領を充分に發揮すべし

最後の乾盃としてとつて置きのウイスキーの栓が拔かれた、濕氣の多い地面に木の葉などを敷いて一同車座になり、水筒の蓋を手にとつた、けふの部隊長は髭を美しく剃つて若返つてゐる、相變らず何時もの溫顏であつた

副官の肩に那須少將

『あゝ俺か、おれは何時戰死しても心殘りのないやうに髭を剃つてゐたのぢやよ、無精髭を生やした醜い面を戰地に曝したくないし地獄へ行つて閻魔大王の前に立つても恥をきかぬやうにのう』と部隊長はつや〳〵した頰から顎を撫で廻し、これで十位は若返つたらうと一同を笑はせ自分もまたをかしさうにから〳〵と笑つた

『それから俺のない後はこゝにゐる渡邊中佐が部隊長代理である』傍でちびり〳〵ウイスキーをなめてゐた渡邊中佐の肩を叩いた

明けて翌日、戰鬪行動を開始した、長蛇の如き部隊は部隊長を先頭に高橋工兵部隊がいまだ完了してゐない丸山道をアウステン山の背後に向つて意氣揚々進擊を續けた、『古宮部隊長は』折から部隊へ追ひついたのは杖を右手に摑み左手を野村副官の肩にかけた那須部隊長であつた『隊長殿は先頭に立つてをられます』『さうか、みんなも御苦勞千萬ぢや、しつかり頑張つてくれよ』と兵隊たちに犒ひの言葉を投げて走るやうに先頭へ進んだ、那須部隊長は鉢卷をしつかりと結んでゐたが顏は眞つ赤に、目の中は生氣なく濁り熱つぽい顏のやうに見うけられた

當時那須少將は惡性マラリヤに冒され四十度以上の高熱が續き身體は極度に衰弱してゐた、だが古宮部隊前進の報告をうけるや責任感の旺盛な少將が頭に『人間は死生を超越して任務に邁進せよ』といふ座右の銘がぐつと浮び上つて來た、『おれは古宮とともに前線に立つ』副官や軍醫はその無謀を極力止めたが少將は頑として應じなかつた

『不肖那須弓雄、陛下より部隊指揮を一任されてゐる、最後に斃れるまで指揮をとるのがわしの任務である』

少將は割れるほど痛み出す頭に鉢卷をなし高熱と疲勞にふらつく身體を一本の杖で支へ、野村副官の肩をかりて部隊の後を追うたのであつた

元來少將は世の中のすいも甘いも嚙み分けた典型的武人肌の人で文學、詩歌なども玄人を凌いでゐた

男子我れ防人となる甲斐ぞあれ東半球の進に死ぬれば

これは少將がガ島へ上陸し轉戰敢鬪ののち自己の心境を現はした歌であるが、この歌が結局少將辭世の歌となつてしまつたのだ、また少將の容貌は魁偉で一見恐ろしさうであつたが、人一倍涙もろく部下思ひだつた、最も少將の頭を惱ましたことは部下の戰死者、マラリヤ患者、下痢患者の續出したことである

『陛下の赤子を多く失ひ奉つたその罪萬死に當る』

少將は畏くも遙かに宮城を伏し拜み不德の罪を詫びてゐた

何時も少將の頭にまつはりついて離れないのは去る九月敵陣深く突入し敵の心臟を寒からしめて華々しく散つた部下將士英靈のことであつた

想起す部下青葉部隊の血戰

九月〇日の未明敵飛行場の遙か東タイボ岬へ突如敵前强行上陸を敢行した部下青葉部隊は海岸傳ひに敵陣地へ進擊し八日の拂曉にはレンゴへ到着した、愈々敵陣間近である、部隊は密林や椰子林の中へもぐり込み東と南から敵陣へ突入する作戰をとつた將兵の士氣

正に天を衝く、山と川との合流點で十二日夜半を期し一齊突擊を敢行し敵を殲滅するのだ、六日目には〇〇部隊と出會ひ糧秣を一日分もらひうけ、川口部隊長から前進する地形、敵狀など詳細な注意を與へられ、恐らく明夜こそ白兵戰をもつて敵を蹂躙すると、兵隊たちは銃や劍を磨き衞生兵などは固い木を切つて手ごろの杖をつくつてゐた

八日目の夜半突擊命令が下つた、雨雲のやうな黑い塊りになつた各隊はテントをひつくりかへすやうな喚聲とともに、東南にある敵の第一線を突破した『おのれヤンキーめ』『日本刀の斬れ味を見よツ』將兵は血達磨となつて敵陣へ突入し猛烈なる敵の銃砲擊を冒して第二線を突破した、敵の銃砲火は十字火となつて飛んで來る、味方の將兵はばた〳〵と斃れてゆく、この激戰中にある中隊長の如きは部下廿七名を提げ迂廻して敵の幕舍を奇襲し百何十名の敵兵を斬り殺し、あるひは突き殺して壯烈鬼神も哭く戰死を遂げてゐる

『古宮、部下の苦痛を思へ』

丸山道とは名ばかりアウステン山の南麓重疊たる嶮峻をやゝ斜めに切り拓いたもので胸つくやうな坂を蛇のやうに下りてはまた登り千仞の谷底へ蔭蔓を傳つて猿のやうに下りて行く、何しろ言語に絶する惡路であつた、ましてや時は雨季、午後になると盆を覆したやうな土砂降りである、何處までも續く泥水の道、將兵は雨に叩かれ泥にまみれひたむきに進擊を續けた、那須少將と古宮大佐はびしよぬれになつて先頭を進み方角を定め密林を切り拓いてゐた

〇日やうやくルンガ河上流に達したが濁流滔々として無氣味な渦を卷いてゐた『閣下御無理をなさつてはいけません』大佐は時折少將の顏を覗き込み、その無謀なることを監視するとともに後退して療養に努めるやう切に進言したが『古宮、部下の苦痛を思へ、部下の苦痛を』そんな時には大將の涙が頰に光つてゐた、ルンガ河の濁流も少將自ら先頭を切り腰までひたつて進んだのである、少將のこのはげつそりやせこけた目は日一日と生氣を失つて來る、少將のこの痛々しい姿を目の邊り見た兵隊たちは

『閣下でさへもあのやうな苦勞をなされてゐる、おれたちなんかなんだツ、これしき』

と互ひに勵まし合ひ、元氣づけ合つてゐた、かくて五日後の拂曉敵に察知されず、飛行場の南端六百メートルのジャングル地點へ到着したのである『今夜の廿二時を期して敵陣へ突入する』と決し、兵隊たちを一時休養せしめ、また病弱に冒された兵隊たちを後送せしめることにした

ジャングルの夜は來たその夜雨雲が低く垂れて一寸先も見えない眞の闇、古宮部隊長は自ら磁石をもつて先頭を進み、兵隊達は一列縱隊となつて續いた、愈々敵前に近づいた時、大スコールが下界を押し流すやうに降つて來た、好機逸すべからず『突擊ツ』の命令一下、部隊長自ら軍刀を閃めかして敵の第一線へ飛び込んだ、この思ひがけない奇襲に慌てふためいた敵は迫擊砲陣地の砲口を一齊に開いて滅茶苦茶に射ち出した、砲彈は前後左右に炸裂し、泥と石ころは雨とともに降りしきる

絶叫、軍旗と共にッ

味方はばたり〳〵と斃れて行くらしい『軍旗とともに死ぬツ』聯隊旗手大塚少尉は大聲で叫びながら部隊長に續いた『軍旗とともに』兵隊たちは眞つ暗な中で聲を賴りにほとんど手探りで續いたのである『あツ』大塚少尉は一聲叫んで斃れた、直ぐさま駈けよつた大野少尉は軍旗を捧持し『軍旗とともに死ぬツ』と叫びつゞけた兵隊たちは戰友の屍を乘越えて進擊する

雨は激しくなるに從つて敵彈愈々猛烈だ『軍旗はしばらくは後退せよ』部隊長は砲煙彈雨の中で叫んだ『軍旗はこゝまで進んで參ります、土臺揚の上からも後退することは絶對出來ません』と大野少尉は敢然と進擊を續けるのである、だがしかし敵の盲彈と唸るのため連絡は切れてしまつた、雨は霽れた、敵は第二線と百メートル位の距離にある

古宮大佐は吉井少佐以下を集めて軍旗を捧し終りて『詔書』古宮部隊長の口から嚴かな言葉が流れると居並ぶ將兵の襟を正させ身を緊張裡にこはばらせた

『天佑ヲ保有シ萬世一系ノ皇祚ヲ踐メル大日本帝國天皇ハ昭ニ忠誠勇武ナル汝有衆ニ示ス 朕玆ニ米國及英國ニ對シテ戰ヲ宣ス 朕カ陸海將兵ハ全力ヲ奮テ交戰ニ從事シ』

と奉唱し部下をして決死の覺悟を促さしめた

『部隊長は敵中にあつても大丈夫ぢや、お前たちは軍旗を奉じて那須閣下の許へ歸つてくれ』

と嚴めたが誰一人歸らうとはしない、遂に命令をもつて指名し拂曉時再び第一線を突破し味方陣地まで後退さしめた、殘るは古宮大佐以下僅かに〇〇名

『靖國の杜へ行く時が來た』

恰度古宮部隊が敵陣へ突擊した時那須少將の病狀は惡化し目はくらみ手足の自由さへも失つてゐた、明方近く敵陣地方面の猛烈なる銃砲聲に意識をとり戻した少將は暫らく耳を傾けてゐたが、むつくと半身を起し『古宮はどうした』『大佐殿は昨夜から今朝方にかけて敵陣へ突入いたしました』『突入したか、部隊全員一丸となつて突入したか』『それが暗さのため連絡が絶えてしまつたのであります』副官は申譯ないやうに答へた『連絡が絶えた〳〵、副官ウイスキーをくれ』少將はウイスキーをぐつと飲み乾すとすつくと立上り『愈々靖國の杜へ行く時が來た』と杖と軍刀を兩手に取りつき『本部は前進せツ』夜は白々と明けて來る、敵の第一線近くまで進んだ、少將はまなじりをつり上げ齒を食ひしばつてじつと敵陣を睨んでゐた敵彈は前後左右に炸裂する『閣下危險であります、しばらく掩護へお入りになりましては』副官は切に奬めたが、少將は首を横にふつて應じなかつた、四邊の部下はばた〳〵と斃れて行く、そのたび毎に少將の顏は痛く歪んでゐたのである、突如、敵の一彈が少將と野村副官との中間に炸裂し土砂は濛々と立上つた

『うむ』『閣下』副官ははじめ將校連中が駈けよつて抱き起したがものゝ破片部をうけた左脚からはどく〳〵と眞つ赤な血を噴き出し『なんともない、なんともない』と平氣でかへつては勇ましく黑い地上をどす赤く彩つてゐた『閣下ツ、古宮部隊報告ツ』轉がるやうに駈け込んで來たのは勝股大尉であつた

甸ひつゝ、突擊叫ぶ一伍長

左顏面を負傷したらしく血潮は顏から胸にかけて流れてゐた『古宮部隊』少將はすぐつと立ち『軍旗は〳〵どうしたつ』と息苦しいほど激しく突つ込んで來た『捧持して只今到着いたしました』『さうか〳〵古宮大佐は』『ます〳〵士氣旺盛、孤軍奮鬪を續けてをられます』『部下は何名か』『〇〇名と思ひます』『うーむ、古宮をこのまゝ敵中に置くことは斷じて出來ない、將兵〔〕く苦勞も多く疲勞も激しからう、勝股大尉、報告に來る早々御苦勞ぢやが、もう一つ骨折つてもらひたい、それは那須がこの居殘りの部隊をまとめて敵陣へ突つ込むといふことと、直安部隊をして古宮部隊を救出せしむるやうこの二つを本部へ連絡してもらひたいのぢや』『はいツ』『賴むぞツ、急げよ』『はいツ』大尉は横つ飛びにジャングル地帶へ飛び込むと少將はどつと尻餠をついた

敵味方の射ち交ふ銃砲聲は物凄いほど猛烈だ、目眩するやうな痛さと苦しさをじつと耐へて大尉はジャングル間の小路を走り續けた負傷者は續々後送されてゐる、衞生兵は勿論兵員さへ不足なので輕傷者は重傷者を勞り、あるひは杖に縋りてよろめきながらあるひはいざりながら這ひながら默々として下つてゐた、暗さは暗し雨は激しく横殴りに叩きつける、敵の迫擊砲彈は恰も小銃彈の如く飛散して來る、幾回となく突きを敢行し、やうやく第一線を突破した、敵兵は何名か少しもわからない

『突擊だツ、突擊だ』突然大尉の足下からうめくやうな聲がもれた『誰だツ』『突擊だ、突擊だ』聲は同じ突擊の聲であつた、不審に思つた大尉は近づいて顏をすかして見た、彼の越智伍長である『越智伍長ツ』大尉は呼んだが、彼の耳へは入らないらしく鐵條網の線にすがつてじり〳〵匍ひながら突擊だ〳〵と叫んでゐる

無念、那須少將陣頭の戰死

勝股大尉の連絡によつて部隊の左翼にある直安部隊が那須少將の指揮下に入り明拂曉を期して一擧に突擊を決行することになつた、この日は少將には長い日であつた、殘りの將兵を提げて雌雄を決する少將の顏には會心の笑が浮んだ、夕刻より銃砲聲は猛烈である

少將はまたマラリヤが襲熱して來た、身體は灼けただれるやうに熱く頭は氣狂ひになるほど痛かつた、少將は軍醫を呼んで注射をさせた、再び副官の肩をかりて最前線に立つたのである、目はかすんで何も見えない、身體は崩れるやうなけだるさだ、その拂曉前少將の命令は直安部隊へとんだ、味方の喊聲が轟く

少將は手許部隊へ突擊前進の命を下すと自ら高熱と疲勞と負傷の身體にむちうち軍刀を引拔いて陣頭に立つた『古宮救援に行くぞ』敵はわが攻擊を豫想し刻々と科學兵器を增加し準備を整へてゐたので時來れりとばかり猛烈な反擊に出て來た『くそツ、鶴ケ丘健兒だ、一歩も退くな、傳統を穢すな、軍旗の下で死ぬツ』敵の砲彈は少將の前方で炸裂し四邊一面濛々たる土煙りに包まれた『無念だ』少將の悲痛な叫び聲を土煙の中に聽いた

その頃本隊より一時後退の命令が來た、人事不省に陷つた少將を二百メートル後方まで運び應急手當を施した『古宮はどうした、古宮はどうした、那須部隊は多くの部下を失ひ上は 陛下に對し奉り下は國民に對して申譯がない』『弓雄の不德萬死に當る』とうは言をいひながら十一時聖壽の萬歲を三唱して壯烈極まりなき戰死を遂げた

遂に古宮大佐、死の突擊へ

少將の心配の種であつた古宮部隊はどうしたか、敵の第二線を突破し第三線との中間近くに古宮大佐以下〇〇名敵に包圍されながら日夜孤軍奮鬪を續けてゐた、彈藥は少くなる、糧食は夜襲の際の握飯一箇と乾パン一袋をもつてゐるだけだ

恰度その夜部隊長とほとんど同時に別方面から敵の第一線を突破したのは鰐川中尉の指揮する〇〇名であつた、暗夜のため連絡は杜絶し中尉は部隊長を極力探し廻つたが見當らず『部隊の突擊不成功であらう』と信じ切つた中尉は自ら軍刀を振つて敵陣へ斬り込み胸部に貫通銃創をうけて壯烈なる戰死を遂げた、かくて敵の中にゐるのは古宮大佐以下〇〇名のみとなつたのである

その日も過ぎ翌日も暮れ、さらに次の日もその次の日も銃砲聲の中で夜になつた、四日間一食も口に入らぬ、水筒の水はすでに飲み乾し誰の咽喉もから〳〵ひつついてゐる

このまゝでは餓死を待つのみだ、潔く敵の中へ斬り込んで日本武士道の最後の散り際をヤンキー共にも示してやれつ

覺悟した部隊長はその夜は敵彈のもとに車坐になつて最後の決意をなし拂曉を待つて故國の空を伏し拜み 聖壽萬歲を三唱した『那須閣下、古宮はたゞ今から敵陣へ突擊いたします』『突擊ツ』の命令一下大地も轟く喊聲とゝもに第三陣へ斬り込んだ、迫擊砲彈、手榴彈の炸裂が濛々たる土煙を卷き上げ、その闇を大佐の軍刀はきらり〳〵と閃めいた、どの位血を吸つたか、その光は鈍い、突擊喊聲は鈍い、日本軍の强さにはじめて米兵も感じたらう、壯烈鬼神も哭かしむる勇戰奮鬪ぶりであつた、敵機は威嚇するやうに頭上を飛び廻つてゐる

社説
大祓の儀に新しき覺悟

本日を以て、全國に大祓の儀が嚴粛にとり行はれ、我が半島もこれに順ひ、神前をはじめ各職場、愛國班、家庭など、遍ねるところなく行はれ、二千五百萬島民は、決戰下に於て不知不識のうちに重ねたる罪穢れの總てを祓ひ淨め、清淨潔白なる心に愈々勝ち拔くの覺悟を新たにして、聖戰完遂へ邁進せんとするのである。

大祓の儀たるや、神意によるところであつて、神代の遠きに、伊弉諾尊が筑紫の日向の橘の小戸の檍原に黄泉國の穢れを祓ひ給へるに始まる。神武天皇橿原に都を奠め給ふや、天種子命をして、天つ罪國つ罪を淨めさせられたのも、萬民心うるはしく天意に副うて國の務めに御奉公申上ぐべきを示させ給うた畏き御心と仰ぎ奉るのである。仲哀天皇崩御あらせられるの御時、諸國に命じて大祓をなさしめ給ふ。この御儀によつて民間にも行はれる事となつた。明治四年六月、宮中にこれを御復活、翌五年六月には各府縣に命じ各神社に於て行はしめ給うた。爾來、六月と十二月の晦日に行ふを恒例とし、臨時には、大嘗會及び齋院、齋宮の卜定に際して、ならびに疫病流行し、災變起つて民草の苦しむ場合にこれが行はれる。

本日を以て行はれるところは勿論恒例に則るものではあるが曠古の大戰下にある銃後國民として、天意に反し、人心にそむくところが些かもないとは云ひ切れぬものを、各自が持つ點を祓淨めねばならぬと反省し、一人殘らず大祓を受くべきである。遠き世に神も祓はせ給ひ、畏けれども、我が大君も祓はせらるゝ時に於て、民草がこの淨めを受くるは、勿體なくもまた光榮至極である。神前につゝしみ、深く頭垂れて、あやまち犯したる罪穢れを謝し奉り、諸々の不淨を祓ひ淨めて、心身玆に新らしく、神意を體して銃後の護りにつき、將兵の善戰に呼應して、勝利の日を一刻も早くするの實踐を具現すべきである。

地方行政の刷新

府縣ブロック制の打破と大行政區域制の設置は多年の懸案であつた。それは所謂行政區域と實際の地方經濟圈が完全に一致してゐないといふところに大牟の理由があつたのである。然るに統制經濟の高度化につれて、この矛盾は益々深まるばかりである。我國が當面する企業整備、食糧の增産確保といふ二つの緊急國策だけでも、これを圓滑に且迅速に遂行するためには、地方行政の改革が前提とならざるを得ない。一方官界新體制の核心をなす戰時行政の綜合運營といふ行政論的見地より見ても地方行政の何等かの改革はもはや必至の運命にあつたといへる。東條內閣がかゝる情勢を察知して、勇敢にこれを採りあげ、十八日の閣議でこの劃期的措置を決定したことは、たとへ現在の決戰的客觀情勢がさうさせたものであるとしても、大いに稱讚されてよいところである。われらは東條內閣のこの大英斷にまづ敬意を表し度い。この狙ひは情報局發表の如く、『關係都廳府縣間の綜合連絡調整をはかり、さらに進んで特別地方行政官廳の所管行政にも亘り各種施策の綜合的運營を具現』するところにあり、歸するところ地方行政の强力なる綜合運營によつて戰力增强の一點に凡ゆる國家的施策を集中せしめんとする劃期的措置であり、その謳ふところは異るとはいへ、正に歷史的意義を有する。全國を九地區に分つたことも概ね妥當であらう。現在の府縣をそのまゝとし、その上に官制によらざる地方行政協議會を置いたといふことは聊か過渡的措置であるかの如き印象を受け、徹底せる根本的刷新とはいひ難いが協議會々長に管下各地方長官に對する指示權を與へたことや、これを獨立の官廳とせずして、あくまで現存機構を活用せんとしたところに政府の並々ならぬ苦心が見られることは大いに諒とすべきであらう。然しそれだけに新機構を通じて所謂綜合行政の妙味を發揮するためには、これが運用を如何にするかといふことに最後の鍵があり、われらの期待するところも實にこゝにある。何故なら各府縣を現狀のまゝとすることによつて、所謂地方ブロックの弊は完全に打破されるものではないからである。しかし何はともあれ、地方行政機構の戰時的性格はこれによつて一步前進した。聊かでもこれによつて多年の懸案たる府縣割據の弊が芟除されるとしたら、これに過ぐる幸ひはないのである。

（無料送呈）
肺病治療の原理
○なぜ肺病となつたか
○肺病を治す藥物ありや
○信仰と治療について
○土と水の利用方法
○日光と空氣の利用方法
○喀血の原因と止血法
○熱の原因と下熱方法
○セキ止め法
○タンとネアセの療法
○不眠と安眠方法
○下痢と便祕の治し方
○胸痛とその治療法
○肺病は全身病なり
○家庭で出來る療法
○誰にでもとれる藥草木
○野菜と果物の藥效
上記內容の肺患征服の教書を、肺病ろくまくに惱む人々へ無料送呈す。この新聞名記入、ハガキで大阪府布施局私書函六 佛教修養社へ申込まれよ…

270億 貯蓄總進軍
組合貯蓄にも 生命保險
朝鮮總督府・生命保險統制會

少女の友 七月號 定價四十五錢
▼アッツを語る 海軍報道班員座談會
▼元帥に續く誓ひ……（櫻町高等女學校 學級常會）
一億忘ることの出來ない、アッツ島とはどんな所か、アッツに於ける皇軍將兵の御苦勞を偲へた、松島、高橋兩海軍報道班員のお話こそ、銃後必讀のものと信じます。
●口繪・アリューシャン（高橋賢一郎） ●グラビヤ・スマトラ・嗚山本元帥 兵器の表情
▼鳥海山の麓・土に戰ふ人々（松田甚次郎先生に聞く…內山基）
山形縣最上共働村塾に農民を導き、共に土に塗れて働く松田甚次郎先生に、農村の眞の姿を語つて頂きました。
女學生の言葉づかひ 石黑修
算盤突擊隊（貯金局訪問記）
自分で縫ふ……弓月晴代
町會長より少女へ……岡本一平
長篇小說 ●若い手（新連載）舟橋聖一 ●命のかぎり 大池唯雄 ●青空より青く サトウ・ハチロー
▼私達の研究室から……（東京女高師附屬高女 川村女學院）
▼少女工員寮生活だより 日立製作所 清德寮・日清紡績 龍城寮
◎發賣日は所によつて違ひますから御近所の書店と御連絡下さい。

昭和十九年度 工場教科書
御採用の向は大至急御採用通報書を御送附下さい
大日本工業學會編 監修 工博 關口八重吉 工博 淺川權八 工博 生源寺順 理博 竹內時男
全六十餘冊 基礎學・電氣・機械・鑛山・航空・建築
一部紹介（價ハ本體ノ金額）

工業初等物理	一・八〇	木型及鑄造	一・八〇	有機化學	一・五〇
工業初等化學	一・八〇	機械力學	一・二〇	無機化學	一・五〇
工業初等數學	一・〇〇	機械材料強弱學	一・二〇	化學機械	一・二〇
工業初等英語	一・八〇	工場管理大意	二・〇〇	鑛山機械	一・六〇
工業大意	一・二〇	蒸氣原動機及內燃機	一・六〇	選鑛學	一・六〇
實用工業數學（一）（二）	一・〇〇	工業材料	一・二〇	冶金學	一・六〇
旋盤工教科書	二・六〇	金相學	一・八〇	採鑛學	一・二〇
仕上工教科書	二・六〇	機械製圖	一・二〇	グライダー	一・五〇
機構學	一・八〇	電氣通論	一・六〇	航空機大意	二・〇〇
機械材料及工作法	一・六〇	電氣材料及工作法	一・八〇	機械工作圖讀方	二・五〇
機械工作實習指導	二・五〇	交流理論及電氣機械	一・二〇	航空發動機	二・〇〇
機械工作法	一・八〇	電氣熔接及電氣鍍金	一・二〇	自動車工學	二・〇〇
手仕上	一・八〇	有機製造化學	一・六〇	技能者用微分積分學	一・六〇
		無機製造化學	一・五〇	技能者用三角法	一・二〇

明年度教科書目錄進呈（通報書用紙モ進呈シマス）
東京神田一ツ橋 教育會館內 大日本工業學會出版部 振替東京 一八〇

好評の重版書 小學館 東京市神田區一ツ橋
日蓮 尾崎士郎著 價二・〇〇 〒二〇
名作「高杉晉作」の中で國民精神の高揚にふれた著者の筆鋒はここに一轉して傑僧日蓮の聖域に迫つた。正に國難克服の魂鐵亂打篇。
青春紀聞 尾崎士郎著 價一・三〇 〒二〇
純粹な國家理念が小說に生かされた尾崎文學の高峰。國民の誰もが知りたき昭和維新の裏面史はこれだ。
白い壁畫 富澤有爲男著 價二・〇四 〒二〇
夢と詩の南海の孤島を背景として華麗にくりひろげられる人生の繪圖。神の如き青年科學者をめぐる若き女性の哀愁のロマン。
馬琴・北齋・芭蕉 宇野浩二著 價二・二六 〒一五
小說家が、作家・畫家・俳人たりし三古人を題材とした新鮮にして滋味溢るゝ小說的傳記讀物。情緖と香氣にみちた宇野文學の醍醐味
起てよ印度 野口米次郎著 價三・二〇 〒二〇
決戰下印度獨立の黎明を前に四億民衆の前途と榮光をうたへる詩聖野口氏の一大詩文集。著者撮影の寫眞豐富。

軍需物資增産に對策研究を怠るな

定例局長會議席上 田中總監要望

田中政務總監は廿九日の定例局長會議に於て臨時議會關係所管事項を報告、在京中各方面との折衝により得た感想を左の如く述べた

臨時議會開會に際し、朝鮮に於ける食糧管理並に企業整備に關して諸官の熱心なる協力により萬事順調に推移したのは同慶にたへない、議會の態度は極めて眞劍で、國家の要請に即應し、民生問題に對する議員の熱心な協力には深い感銘を覺えた、朝鮮の農業對策、食糧緊急增産については內地各方面から、多大の期待を持たれてゐる、軍需物資の增産、生産擴充の隘路をなす鐵、輕金屬については、これらの物が必要なる所以は、これらの物自體ではなくて、その性能である、故に鐵の入手が困難であると稱して官民ともにこれが對策研究を怠つてゐるのは遺憾である、即ち、これらの物資の性能を他の物資に求める努力をも大いにやらなければならないのであつて、必要な性能を具有する他の物資を創り出すことに對して努力研究をしなければならないのであつて、內地では官民ともに大いに努力しつゝあり、朝鮮に於ても官民を動員して科學的研究を續けて行かねばならぬ、內地では議會といふ機關があり、官民とも在職してゐるが、朝鮮では斯の如き機會が無いから自ら努力する必要がある、內閣、內務省その他各方面で朝鮮に對する理解を深め、非常に親身な打ちとけた態度を以て朝鮮の施政に全幅の協力をしようとする態度で應待されたことは非常に嬉しく思つた

各局長報告

廿九日の定例局長會議は午前九時總督府に開催、田中政務總監より今回の東上についての報告を行ひ次いで各局長事務報告、最後に小磯總督の發言あつて正午終了、各局長の報告事項は次の如くである

江口總務局長 八月一日より徵兵制施行については內地では內務陸軍兩省主催で宣傳周知に努めてゐるが、朝鮮に於ても慶祝行事を行ひ錬力運動を通じて宣傳に努める計畫で目下その具體案立案中

財務局長代理辻理財課長 朝鮮證券取引所令は御裁可をまつて近く公布の豫定、割增金附定期預金の成績は極めて良好である

大野學務局長 七月中旬全鮮中等學校長會議を開催、同時に各道學務課長、視學官の會議も併せ行ひ、小磯總督より(一)道義朝鮮確立(二)教權の確立(三)學徒戰時動員の三項についての訓示を頂き、引續いて學校側のこれに對する具體的對策樹立を協議する

石田遞信局長 釜山軍工業の遞船情況報告、學徒の航空戰技訓練施設整備について報告

長屋企畫室長 釜山の荷役狀況について報告

筒井人事課長 文部事務關係者行政について中央との打合せにつき報告

倍原勅任事務官 軍需鑛當緊急開發調査團の計畫について報告、今夏を期し內地より權威ある技術者を招き、半島技術陣を總動員して未開鑛區の調査を行ふ

丹下警務局長 七月十九、廿、廿一の三日間にわたり朝鮮新聞會主催、各新聞社長の錬成會を行ふ

金屬回收に國家性

上旬公布、急速に實施

回收令改正

【東京電話】政府は決戰段階に對處し鐵、銅、鉛など金屬類の需給確保を期するため總動員法に基く現行金屬類回收令を改正強化すべく準備を進めてゐたが戰力增強企業整備の發足を目前に控へ廿九日午後首相官邸に第廿六回總動員審議會を開催

一、諮問第九十四號、金屬類回收令改正に關する勅令案要綱を附議、岸商相、椎名商工次官の說明ののち原案通り可決したので午後四時情報局より右要綱を發表した、今回の改正は戰局の現段階に即應する劃期的內容を有し全文改正の形式をとるが、法制局において要綱の法文化を急ぎ來月上旬公布の豫定である、その改正の要點左の如くである

情報局發表

金屬類回收令改正に關する勅令案要綱

第一、本令は戰力增強に資するため金屬類の供給の確保をはかることを目的とすること

第二、本要綱において回收物件は鐵、銅、鉛又はこれらのものを主たる成分とする合金を主たる材料とする設備又は物資にして左の各號の一に該當するものをいふこと

1、命令をもつて指定する事業に屬する設備にして命令をもつて指定するもの

2、命令をもつて指定する施設に備付けたる物資にして命令をもつて指定するもの

3 前各號に揭ぐるもののほか命令をもつて定むるもの

第三、商工大臣は回收物件を所有しまたは權限に基き占有するものに對し當該回收物件の讓渡その他の處分、出資、使用または移動を制限することを得ること

第四、商工大臣は期限を指定し回收物件の所有者に對し當該回收物件を回收機關に讓渡の申込をなすべきことを命ずることを得ると、前項の規程により讓渡の申込をなすべきことを命ぜられたるもの、前項の期間內に讓渡の申込をなさゞる時は讓渡の申込みをなしたるものと看做すこと

第五、回收機關に對し回收物件の讓渡の申込みありたる場合においては當該回收物件の撤去、引取撤去により生じたる破損個所の修理および代替物件の備付けは地方長官原則として回收機關を指揮監督してこれを行ふものとすること、地方長官必要ありと認める時は回收物資の所有者または權限に基き占有するものをして前項の作業を行はしむることを得ること、第一項の規程により地方長官回收物件の撤去または引取を行ふ場合においては當該回收物件を所有しまたは權限に基き占有するものはこれを拒むことを得ざること、第一項の規程により回收物件の撤去または引取ありたる時は同回收物件機關に引渡ありたるものと看做すこと

第六、回收物件讓渡價格は商工大臣これを定むること、但し商工大臣必要ありと認むる時は回收物件の讓渡價格につき商工大臣の定めたる基準による當事者間の協議によらしむることを得ること

第七、撤去費その他回收物件の引渡に要する費用および修理費は回收機關の負擔とすると、回收物件の用途または備付けの狀況に關し代替物件の備付けを必要とする場合において代替物件の價格と備付けに要する費用との合計額が當該回收物件の價格を超ゆる時その超過分につき前項に同じ

第八、回收物件に關し强制讓渡手續、國稅徵收法による强制徵收手續または土地收用法、工場事業場使用收用令、土地工作物管理使用收用令若くは總動員物資使用收用令による使用若くは收用の手續その他のこれらの手續に準ずべきものの進行中なる時はその進行中に限り當該回收物件に關しては第四の規程を適用せざること

第九、第四の規程によりなしたる回收物件の讓渡は他の法令に拘らずその効力を有すること、第四の規程により讓渡すべき回收物件につき存したる擔保權は他の法令に拘らず當該回收物件につきその讓渡の場合においては當該擔保權者は當該回收物件の代價として受くべき金錢および當該回收物件につき第七第二項の超過分として受くべき金錢に對しその權利を行ふことを得ること

第十、回收物件が知れたる擔保權の目的たる場合においては回收機關は當該回收物件の代價および第七第二項の規程により支拂ふべき金錢を供託すべきものとすること

第十一、回收機關は商工大臣の指定する回收機關に對し讓渡する場合その他命令をもつて定むる場合を除くのほかその讓り受けたる回收物件につき讓渡その他の處分をなしまたはこれを使用することを得ざること

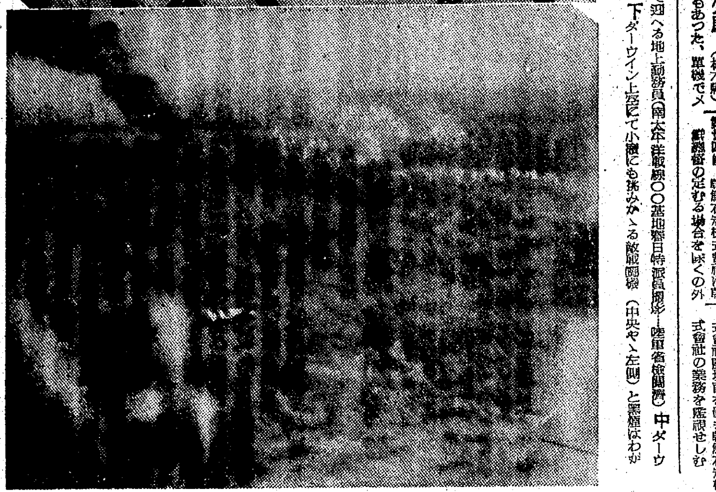
第十二、補償すべき損失は第四の規程による命令により通常生ずべき損失とすること、前項の損失の補償に關し必要なる事項は命令をもつてこれを定むること

第十三、商工大臣は回收機關に對し回收物件の讓渡、讓受などに關し必要なる命令をなすことを得ること

第十四、商工大臣または地方長官は回收機關、回收物件の所有者その他の關係者より回收物件に關し必要なる報告を徵しまたは當該官吏をして必要なる場合に臨檢し業務の狀況その他を檢査せしむることを得るものとすること

第十五、商工大臣は本要綱に規定する職權の一部を地方長官に委任することを得ること

第十六、本制度は前各號に準じ各外地にもこれを實施すること



ダーウィン爆撃行 上 基地に降り立つ搭乗員を歡迎して迎へる地上勤務員(南太平洋戰線〇〇基地眷日特派員撮影…檢閲濟) 中 ダーウィン爆撃から歸還の陸鷲機姿(南太平洋戰線〇〇基地眷日特派員撮影…陸軍省檢閲濟) 下 ダーウィン上空にて小癪にも挑みかゝる敵戰鬪機(中央やゝ左側)と黑煙はわが猛爆に炎上する敵軍事施設(加賀習長撮影…陸軍省檢閲濟)

ダーウィン猛爆

【ブエノスアイレス廿八日同盟】メルボルン來電＝西南太平洋反樞軸軍司令部は日本航空部隊が廿八日大擧ポート・ダーウィンを爆撃した旨廿八日發表した

猛然、突込む

陸鷲に聽く基地爆撃

【〇〇前線廿八日同盟】南方決戰場で連日猛烈極まりなき激戰をつづけてゐるわが陸鷲は去る廿、廿二の兩日にわたりポート・ダーウィンの敵軍事基地を痛爆大戰果をあげたが、以下は記者が〇〇基地にあつてこの戰ひから歸還した荒鷲達に聽いた爆擊行の模樣である

南場茂樹中尉(鹿島縣)

二十日〇時われくはポート・ダーウィン目指して基地を飛び出したが絶好の爆擊日和であつた、〇時間飛んでやがてダーウィンの最先に差掛つたが見る見る幾つもの島が現れて來た、これを一氣に越えていよく憧憬となつたが眼下に見るダーウィンの防備は思つたよりも嚴重で飛行場の街で來るとスピットファイヤーを主力とした敵戰鬪機が四十機ばかり小癪にも飛び上つて來たやつて來たなと敵に向つて猛烈にちぢ襲くりまつ出鼻を叩きのめしてやつたが

◇……敵は執拗にもわが〇〇機の編隊に向つてやつて來る、われわれは〇〇機を擁護しつゝ群る敵機を追ひ散らしたがわれく戰鬪機が敵の目に映ると敵機は大慌とばかりさつさと逃げ去る正面切つて立向ふ氣力は敵に全くない

梅岡和美中尉(鹿島縣)

敵機は確かに逃げ足が早い、〇〇機を敵機中左からぱつと出て來るやつがあつたので逆に背後に廻つて攻擊すると夢中で敵のやつ宙返りをした、今度はどうするかと思ふと意外にも翔がる機にして一生懸命に逃げ出し全く悲鳴をあげてゐるやうだつた

小野崎清少尉(栃木縣)

案外なやつもあつた、單機でメルビル島の南ボーサム岬附近を遊攻してゐると前から三機編隊がやつて來たので、これに猛然と突込んで行くとそのうち二機はいきなり反轉して逃げ出したが殘り一機は勇氣にもこつちに向つて來る、味なやつだと感ひながら一連射をくらはすと敵はぱつと反轉する、この反轉を狙つてもう一連射をくらはし宙返りをして逃げ出すのを追ひかけ途に叩き落した

◇……今度の爆擊機で多少手應へのあつたのはこやつ位だつた、空から見たポート・ダーウィンは薄汚い街だつたが新しい計畫によつただけあつて道路は整然としてゐる、今度の爆擊で來た一段と樣子が變つたことだらう敵の戰鬪戰法といふと大袈裟だが自分がバッファローと渡り合つた時、自分が追ひかけて行くと敵機は機首がこちらを向いてゐないのに盛んに大空に向つて發砲してゐるのだ、これでこちらに精神的不安を與へてなんとか有利な戰勢を誘へようとしたものであらうがこつちから見ればなんのことはない、敵自身の自己滿足位にしか見えないのだ

◇……歐洲張りの戰線ならいざ知らず日本軍に向つてこんな手段をとるなんて基地に歸つて皆で大笑ひした、それから二十二日の第二回攻擊の時には前回の爆擊で参つてしまつたのか敵機は一機も出て來ない、その上に高射砲一發すら撃ち出して來ないのだ、恰も港に碇泊してゐた驅逐艦三隻、大型商船二隻が狼狽して逃げ迷ふのを見に行つたやうなものだつた

朝鮮石油協會創立

會長に上瀧殖産局長

總督府では一日から石油配給統制令を實施することにしたがこれに先き立ち總督府では三十日附で右制令を公布、鮮內民間配給機關としては總督府の意を體し石油關係者一致協力政府の方針に順應、業界の改組整理に邁進するため、最に井上主計、中山彌一郎、矢鋪一男、竹內保雄、吉岡久の五氏が發起人となり鮮內石油關係業界を打つて一丸とする朝鮮石油協會を設立すべく準備中のところ廿九日朝鮮石油統制會社會議室で創立總會を開催本府側から上瀧殖産局長、倍原勅任事務官、本野燃料課長以下係官臨席、井上石油統制社長、星子同專務、中山朝石常務はじめ人石、日石、加工業者および會員三十五名出席、上瀧殖産局長を會長に推戴、會長より理事長倍原勅任事務官はじめ左記の通り常任理事三名、理事十九名監事二名を指名決定しなほ引續き同社において倍原理事長統裁の下に第一回理事會を開催、新築の目的を達成すべきことを申合せた、役員の顏觸れ左の通り

▲會長上瀧殖産局長▲理事長倍原勅任事務官▲常任理事本野燃料課長、中山彌一郎(朝石)星子敏雄(石統)▲理事木村義雄(朝石)大島藤滿(人石)井上計(石統)大坪太郎雄(朝石)矢鋪一男(日石)田中吉一(朝石)伊知地軍司(日石)竹內保雄(指販)吉岡久(指販)田井內健次郎(人石)北村忠勝(人石)竹崎三(指販)立石信吉(指販)小野寺勝彌(指販)根石捷一(指販)木本四郎、高橋賀治(指販)永岡惠一(指販)松尾千治(指販)▲監事松藤久吉(朝石)永浦和(石統)

農發債券發行

大藏省との交涉終る

朝鮮農地開發營團では本年度事業所要資金調達のため第一回農地開發債券一千七百萬圓を發行することになり、かねて山下總務部長、木下監理課長が東上、大藏省と折衝中の所、大體において諒解を得たので木下課長がこの程歸城した利率は三分四厘で事業の進展に伴ひ年度內に分割發行の豫定で第一次發行は九月頃となる模樣

石炭配給統制令

廿九日附發表 (中)

第廿一條 朝鮮石炭株式會社借入金を爲さんとするときは朝鮮總督の認可を受くべし

第廿二條 朝鮮石炭株式會社の定款の變更、利益金の處分、合併及び解散の決議は朝鮮總督の認可を受くるに非ざればその効力を生ぜず

第廿三條 朝鮮石炭株式會社は每營業年度の事業計畫、豫算を定め朝鮮總督の認可を受くべし、之を變更せんとするとき亦同じ

第廿四條 朝鮮石炭株式會社は朝鮮總督の定むる場合をのぞくの外朝鮮總督の認可を受けたる價格に依るに非ざれば石炭の買入又は賣渡を爲すことを得ず

第廿五條 朝鮮總督は朝鮮石炭株式會社に對し石炭の需給調整上必要なる事業を行ふべきことを命じ、其の他業務に關し公益上必要なる命令を爲すことを得

第廿六條 朝鮮總督は朝鮮石炭株式會社の業務に關し監督上必要なる命令を爲すことを得

第廿七條 朝鮮總督は朝鮮石炭株式會社監理官を置き朝鮮石炭株式會社の業務を監視せしむ

第廿八條 朝鮮石炭株式會社監理官は何時にても朝鮮石炭株式會社の金庫、帳簿及諸般の文書物件を檢査することを得

朝鮮石炭株式會社監理官は必要ありと認むるときは何時にても朝鮮石炭株式會社に命じ業務に關する諸般の計算及狀況を報告せしむることを得、朝鮮石炭株式會社監理官は株主總會其の他諸般の會議に出席し意見を陳述することを得

第廿九條 朝鮮總督は朝鮮石炭株式會社の決議又は役員の行爲が法令、法令に基きて爲す處分若は定款に違反し又は公益を害する若は害するの虞ありと認むるときは其の決議を取消し又は役員を解任することを得

第卅條 朝鮮石炭株式會社は石炭の價格の調整を圖る爲朝鮮總督の定むる所に依り石炭價格平衡資金を設定すべし

第卅一條 第一條の規定又は第十五條第二項の規定に依る命令に違反したる者は一年以下の懲役又は一萬圓以下の罰金に處す、但し犯罪に係る石炭の價格の三倍が一萬圓を超ゆるときは罰金は當該價格の三倍以下とす

第卅二條 第二十四條の規定に違反したる者は五千圓以下の罰金に處す

第卅三條 左の各號の一に該當する者は五百圓以下の罰金に處す

一、第四條の規定に依る報告を爲さず又は虚僞の報告を爲したる者

二、第四條の規定に依る檢査を拒み、妨げ又は忌避したる者

第卅四條 朝鮮石炭株式會社の役員又は使用人其の職務に關し賄賂を收受し又は之を要求し若は約束したる時は三年以下の懲役又は三千圓以下の罰金に處す、因て不正の行爲を爲し又は相當の行爲を爲さゞる時は三年以下の懲役又は五千圓以下の罰金に處す、前項の場合に於て收受したる賄賂は之を沒收す、若し其の全部又は一部を沒收することの能はざるときは其の價額を追徵す

大東亞首都の威容

"東京都"あすから實施

【東京電話】行政刷新強化の先頭を切つて東京都は府、市を傘下に收め名實共に大東亞の首都たるの威容をもつていよく一日實現されることになつた

東京都制案は先の第八十一議會の自然審議を經て原案一部修正の上可決成立して以來內務省ではこれが實施準備を進捗せしめるとともに緊迫せる情勢のもと帝都防空必勝態勢の急速確立の見地から最初の豫定を三ケ月繰上げ七月一日實施することとし東京都官制も六月九日樞密院で可決され、去る廿三日には初代都長官として昭南特別市長陸軍司政長官大達茂雄氏が內定、同日東京都設置準備事務を委囑された

同氏は府知事官舍に事務所を置き大東亞建設の第一線における昭南市建設の體驗とその手腕を驅し新都制實施の構想を練るとともに諸般の準備を進めてゐたがすべての構想整備も完了、けふの發足をまつのみとなつた

しかして東京都實現の曉は府、市二重行政の弊は除去され、多年帝都行政の停留となつてゐた相剋し諸制則たる都風の作興により國內各府縣、各都市のみならず大東亞共榮圈全般に對する名實共に模範たるべき戰時態勢の大東京の確立が期待される

恰も東京都制と時を同じうして實現を見る地方行政協議會において東京都長官は關東地方一都七縣行政の綜合運營の中樞として縦横の手腕を發揮し、地方行政刷新強化の先達となるわけであり首都の下七百萬都民一體となつての皇都の發展強化は國內のみならず、大東亞全域の期待するところとなつた

【寫眞＝初代都長官大達茂雄氏＝府知事官舍にて】

イタリー海軍大擧出動

【リスボン廿八日同盟】廿八日のアルジェー放送がスペインのアリバー紙情報として傳へられるところによれば、イタリー艦隊は反樞軸軍に對する攻擊作戰を開始するため數ケ所の基地より出動したといはれる、但し樞軸側からはこれを確認すべき情報は全然ない

食糧に關心

土屋朝金事業部長語る

八日東京に開催の東亞協同組合協議會に二日間出席の朝組代表者大會に出席、引續き神和、京都、松江、福岡地方の食糧管理狀況を視察中であつた土屋朝鮮金融組合聯合會事業部長は廿七日歸任次の如く語つた

協同組合協議會では朝鮮の產米增殖計畫とこれに對する金融組合の助成計畫に就いて私が說明し色々質問も受けたが朝鮮の食糧增産については日滿支とも非常な關心を持つてゐた、産組代表者大會は時局下最後の大會であつた實施を前に最後の大會であつただけに眞劍味が溢れてゐた、食糧管理は朝鮮も近く食糧營團が誕生し買上代金は金組が行ふこととなる模樣なので實情を見て來たが內地では食糧管理も既に四年を經過してゐるので相當うまくいつてゐるやうだ

轉用協議會設置

【東京電話】政府は多數の工場、事業場などの資材、勞務などが重點その他の重要部門に轉用されることとなるので、これが實施の迅速適正を期するため商工省に轉用協議會を設置することゝなり廿九日の定例閣議で岸商相より、工場など轉用に關する協議會の設置に關し說明、閣議の諒解を求めた本協議會は商工大臣の監督下に商工次官を委員長とし關係官廳、局部長などを委員とするもので、さきに決定した企業整備の方針に即し工場などの轉用に關する具體的施策を協議する

內閣、各省委員正式決定

【東京電話】內閣および各省委員の銓衡については政府、翼政會間で內定をみたので廿九日の定例閣議において星野書記官長より報告正式に決定し、一兩日中に發令されることとなつたが、內閣および各省委員の數を昨年度に比較すれば衆議院議員は二百六十名(昨年度二百四十三名)貴族院議員九十五名(昨年度七十八名)各界は五十名(昨年通り)となつてゐる

定例閣議

【東京電話】廿九日定例閣議は午前十時首相官邸に開催、星野書記官長より內閣および各省委員の銓衡につき報告諒解を求め次いで岸商相より工場などの轉用に關する協議會の設置について報告これを決定、後藤國務相より七月十四日から三日間開催される第四回中央協力會議總常會につき報告、最後に八田鐵相より陸運貨物夏季輸送增強期間に關する件につき說明正式決定して午後零時廿分散會

中央協力會議

來月十四日より三日間開催

【東京電話】戰力增強を必須の課題に一億必勝の國民的決意を昂揚すべき第四回中央協力會議は來月十四日より三日間大東亞會館に開催する

今回の協力會議は出席協力會議員總數二百十六名、提出議案總數百五十件でその內譯は皇國勤勞精神の昂揚に關するもの十件、戰力增強生産の實現に關するもの四十二件、食糧國內自給非常增産の決行に關するもの三十七件、戰爭生活の徹底に關するもの廿一件その他などで決戰生産の完遂と戰爭生活の實踐を提唱するものが壓倒的多數を占め一億國民戰進軍、戰爭完遂に對する國民の盛り上る熱意を如實に示してゐる

小林躋造大將起用

中央協力會議長を委囑

【東京電話】大政翼贊會中央協力會議長は人選中の處前首總理翼政總裁小林躋造海軍大將を起用廿九日發令

正三位勳一等功五級海軍大將 小林躋造
中央協力會議長を委囑す

日輕旭電工場

鎭南浦に決定か

金屬マグネの增産に資して朝鮮進出を傳へられてゐた日輕旭電化の工場建設地は目下、山田日輕常務、今井旭電化無機部長らが來鮮視察中であるが大體、大同江に沿ふ鎭南浦の上手附近に決定した模樣である

鑛業評價委員會

金山買取に關する評價は砂金鑛區及び金山附屬設備を殘すのみとなつてゐるが、總督府では愈々これが評價基準を決定し金山整備を促進することになり、卅日午後二時より第一會議室に鑛業評價委員會を開催、委員長田中政務總監以下各委員出席し、左の付議事項につき協議する

一、砂金鑛區補償基準案
一、特別整理資材補償基準案
一、精錬製錬場複合價格案
一、水車揚鑛製錬場同
一、精製設備同
一、採金船同
一、鋼索同
一、空氣壓縮機同
一、索道同
一、發電設備同

白鳥氏翼政會離脫

【東京電話】翼政會前總務白鳥敏夫氏は同部總務に辭表を提出したので翼政會では廿九日午後一時からこれを承認することに決定、廿九日午後一時から開かれた總務會に橋本事務局長から報告了解を求めた、これで離脫者は四名となつた

有價證券取引所令

七月公布、中旬施行見込

有價證券市場の決戰態勢を確立する證券取引所の機構改革は朝鮮は內地に準じて實施することになつてゐるが、右根據法令である朝鮮有價證券取引所令はかねて法制局で審議中のところ所定の手續を完了したので來る七月一日附をもつて公布、施行規則の公布をまつて七月中旬に施行する

同令は戰時下有價證券の公正なる形成安定を期しこれが取引の圓滑化を目途として資本金一千萬圓の國策會社朝鮮有價證券取引所を設置し取引所に公共的性格を附與する一方價格ならびに取引所の取引に對する監督權を强化するものである

なほ同令施行をまつて直ちに朝鮮有價證券取引所設立委員を任命、八月一日開業の豫定で創立準備を急ぐことになつてゐる

株式市況 (廿九日後場)

朝取短期

銘柄	大引	高値	安値
高周波	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝機械	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小	—	—	—
三重新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
龍工新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝陽	—	—	—
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	—	—	—
小林	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東拓金	—	[illegible]	[illegible]
大引			[illegible]

大株短期

銘柄	大引	高値	安値
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三菱重	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戸鋼	二節	三節	引
郵船新	—	[illegible]	[illegible]
チツソ	—	[illegible]	—
日紡新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人	[illegible]	—	—
倉絹新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日レ	[illegible]	—	—
滿業	[illegible]	—	[illegible]
日立新	—	—	—
鋼管	—	—	—
日鑛	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日糖	—	—	—
大引			[illegible]

東株短期

銘柄	大引	高値	安値
(第一部)			
郵船新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三菱重工	—	—	—
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鋼管	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(第二部)	中		引
滿鐵	—	—	[illegible]
郵船	—	—	[illegible]
北炭	—	—	—
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
洋レ新	—	—	[illegible]
小倉	—	—	[illegible]
麥酒新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
塩水	—	—	[illegible]
日鐵	—	—	—
滿業	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大引			[illegible]

隨想錄

府內の高台にある住宅街で、給水難を克服する爲に町會が井戸を掘り、住民が協力するといふのは、戰時にふさはしい朗話だ▲しかし、モーターを据付けても、給水が完全になるとは云へない例がいくつもある。水を大切にし、出來るだけ節約するのは美德だが、今日の場合、水は銃後の武器である▲水槽も三日に一度は新らしく入れねと、蚊の孵化場所になるし、就寢前には、いろんなものに水を滿たして置かねと、いざと云ふ場合の役に立たない▲都市にあても、井戸が必要である。それは、炊事とか掃除とかの爲ばかりでなく、完全な民防空の爲にである▲神井台なども矢張り水道が充分と云へない。從つて井戸のある家へ附近の五戸なり十戸なりが殺到するので、水は濁つて、井戸を持つた家でも炊事にすら役立てることが出來なくなる▲空襲下に晒されずとも、火事でも起つた場合、これでは手を拱いて延燒するに委すより外はない。それを考へると不安この上もなく水、水、水、である。水も武器だといふのはこの理由からだ▲萬一の場合には、お隣りに井戸があるなどと考へないで、專門家に水脈を鑑定してもらひ、それこそ、愛國班が共同し、掘れるだけ井戸を掘らう。冬は暖く、夏は冷めたい水の出る井戸は有難い▲同事かゝつてから飛出すのでは、本當は遲い。防空體制强化の爲に掘る井戸へ、勤勞奉仕隊も出動するがいゝし、當局も充分に援助を與へてほしい。そして、備へを萬全にしよう。

文化

結びつく心

寺田瑛

過日、私は加藤武雄氏等と共に、黄海道の農村を見て廻つた。

都會生活ばかりしてゐる私にはこの初めて見る農村が、すべて新しく珍しいものに考へられた。殊に、信川の上洞では、昨年朝鮮水利組合聯合會主催の水稻多收穫品評會で、一反歩當り玄米四石六斗六升といふ驚異的收穫を擧げて、特等を獲ち得た孫田孝浩君といふ青年にあひ、親しくその經驗談を聞くことが出來た。

孫田君はいふ—內地では田の土を一尺以上も耕してゐるといふが在來の朝鮮の習慣では三、四寸程度である。そこで私はそれを少くとも五寸以上耕すことにし、除草もこれまでの例なら三四回程度であつたのを私は六回にして、害虫の消毒も熱心にやつたので、隨分苦しかつたが、こんなことで屁古垂れてなるものかと頑を鞭し、家族の者と共々に、夜寢る時以外は、毎日稻を見張つたものです—と。

孫田君の如きは、ほんたうに稻と語の出來る男だと思つた。そして、孫田君は最後に『私は別に新しいことを考へてやるのではなく、たゞ當局の指導を守るだけです』と附け加へた。

まことに當局を信賴する農民の心と、農民を誘掖する當局の心とが結ばれることこそ、今の增産戰の時には、最も必要なことではないだらうか。

そこで、私は黄海道の碓井知事が、道民の時局認識を高めるために、映畫を利用して、豫期以上の成果を收め得たので、今後は『マレー戰記』により皇軍第一線の辛苦を聞かせ『戰ふ農村』によつて內地農村の眞劍さを味はせ『逞しき前進』によつて中小商工業者の敢鬪振りを見せ、道民の士氣昂揚を圖るため、前記三映畫班入の斡旋方を本府情報課へ申出たといふ話を思ひ出した。

碓井知事は有名な映畫愛好者であるが、映畫は百遍の說教に勝るといふ確信に出發したものらしく、この新しい啓蒙方法により、更に第二、第三の孫田孝浩君が出ることは疑ふ餘地がない。

もう一度繰返へる—當局を信賴する農民の心と、農民を誘掖する當局の心との結びつく日、食糧增産のことなどは、押して待つべきのみ—と。

不連續線

軍配團扇

相撲の行司が持つてゐる軍配團扇を見て『ひどい。なつちよらん』と憤慨した男がある。

聞いて見ると、あの軍配團扇に書いてある『天下泰平』の四字が氣に入らぬといふ。

『今、天下泰平であるか何うか、赤ん坊でも知つてゐる。それだのに、あんな暢氣な字を掲ふなんて、ひどいにも程がある。あれは、米英擊滅とすべきだよ』

相撲の故事、行司の由來、軍配團扇の來歷とは別に、この男の憤慨も、一應は買つてやるべし。

"地理大系"の『朝鮮篇』を映畫化

日映では『地理大系』の映畫化を企畫、近くその『朝鮮篇』に着手することになつたが、同社が總督府との協同で製作に着手した『前進する朝鮮』の演出擔當者中野孝夫氏が目下製作品と併行的に撮影前の觀察を行つてゐる

同映畫は一般に公開せず、全國國民學校の課外教材用としてのみ使用されるが、この製作に對して總督府は積極的援助を與へ從來の撮影禁止區域等も特に開放する方針で完成期限は約一ケ年と豫定され、內容は地形、農業、工業、交通、文化の各觀點から完全な朝鮮の全貌を描き出すことになつてゐる

文人報國會で懸賞圖案募集

國民總力運動の一翼として朝鮮に於ける文章報國の實を擧ぐべく發足した朝鮮文人報國會では徽章その他に使用すべき同會の圖案を募集することになつたが、その規定は次の通りである

用紙は自由なるも必ず墨色を使用すること▲締切は七月二十日限り▲宛名は總督府第三別館國民總力朝鮮聯盟文化課內朝鮮文人報國會事務局『懸賞圖案係』▲賞金は入選一名金五十圓也▲發表八月一日

文化だより

◇崔寅奎氏(映畫演出家)東寶映畫『望樓の決死隊』完成後待機中のところ、このほど朝鮮映畫製作株式會社演出部に正式入社した

京日俳壇 高濱虚子選

壯丁にくるりと廻る台秤　露湖　流鄕　磯藤
大江と古りし四五戸や柳絮飛ぶ　同　岡安　雷雨
同　吹本　日魚子
哀顔の髪に收場の馬車待てり　京城　眞山　嵗江
暮雨や重なり合へる迎へ傘　群山　長岡　翠旺
牡丹掲げて雨の石段下りて來る　吉州　高橋　聚城
寂寞の廢宅は古びたり

貯蓄增強の一翼
皆さま株式への投資
三協商會株式推奨
朝鮮證券
大原證券
京城府明治町二丁目

決戰貯蓄に！
安全の安い 利益配當附養老
配當の多い 昭和新種養老
(安內書進呈)
安田生命
全國各地に支店・支部あり

朝鮮神宮に御參拜の李王、同妃兩殿下（社前にて謹寫）

發展狀況を御聽取
神宮御參拜の李王、同妃兩殿下

御滯鮮中の李王、同妃兩殿下には廿九日午後一時廿分昌德宮を御出宮、御附武官伊奈中佐、御用取扱三浦禎子女史を御同、朝鮮神宮に御參拜遊ばされた

この日、兩殿下御參拜に先だち神宮では午後一時廿分から竹島權宮司齋主として奉告祭を奉行、御到着を御待ち申上ぐれば兩殿下には同一時四十五分御到著、第二鳥居石階下で御下車、額賀宮司御先導申し上げ宮田禰宜副從し、新貝總督府司政局長以下扈從、第三鳥居内左側で御手水の儀、拜殿前にて御修祓を御受けさせられ、これより拜殿を經て中門内に御參進、額賀宮司の進め奉る御玉串を取らせられ、先づ李王殿下御拜の御座につかせられ恭しく御玉串奉奠御拜禮あり、次ぎに同妃殿下同じく御玉串を奉り御拜禮遊ばされた

かくて額賀宮司の御先導で退下遊ばされ、第二鳥居下から參集所内に入らせられ約十分間に亘り額賀宮司から大京城の發展狀況、神宮境内の諸施設等につき御說明申上ぐれば兩殿下には御機嫌麗しく拜せられた、同二時御出發遊ばされた

朝鮮神宮御參拜を終らせられた李王、同妃兩殿下には午後二時廿分小磯總督を官邸に御訪問、引續き同二時五十分板垣軍司令官を官邸に御訪問遊ばされた

"仕事追ふ氣概もて"
局長會議席上　總督さんが親心の"官場訓"

小磯總督は機會ある每に吏道刷新と、自己錬成による民間への範示を強調してゐるが、廿九日總督府局長會議席上、本府職員の事務の迅速處理への積極なる挺身、潔癖生活などを促す決戰下の官場訓を與へて感銘させた、その訓へは—

各課各係との間の有機的連絡が足らない、一たび司令が傳れればその核心をつかんで迅速、いや即刻に連絡をとり、末端へまで屆くやう即斷してしまふ、總督が職員の執務の態度をみたところによれば、舊仕事に追はれてゐる、これではいけない、こちらから仕事を追ふやうな氣概でなければならない、即ち時計を氣にするな、たとへ退廳時間の五時が過ぎて、七時、八時になっても、その日の仕事をその日に終らせる、いま位の情勢は刻々に推移してゐる、役人は誰よりもこの現實に即應して邁進すべきである、それには自ら判斷して細いことに拘泥することなく現實にあくまで即應することだ、そこに素直に受入れた雅量をもって邁進するのだ、またこれを半島の翼力運動にしてよいと思はれたときは、早速努力聯盟に協力して貰ってその力を使って行く、各課の部屋をみるに紙がちらばってゐたり、痰壺に水が入ってゐなかったり、ガラスの破片が部屋のあちらこちらに積ってゐてはその不愛想さで、職場能率があがるはずはない、潤滑、整頓を重んぜよ

い、と親心をこめた訓示をなし最後に

例年の十倍にはなる今年の野菜豊作は、非常な出廻りを示してゐるが、これを貯藏するなり、冷凍をさせて明日の食糧に備ふべきである

と野菜の食糧對策に對する總督の機智を傾けた訓へを諄々と說いた帝國、悠久三千年の歴史を賭けていま危懷極まる決戰の下において自ら二千五百萬、半島の陣頭に起ち、決って朝は職員よりも先に七時半には登廳、夕は七時とも遲くまで居殘って政務に心魂を傾けて奮戰敢鬪する小磯總督は、折にふれて職員の部屋を廻ってはその執務態度から心構へに對する小さいことまでに氣を配って一瞬たりとも陣頭に指揮を怠らない

そしてさきには電話交換事務態度を訓し、けふまたこゝに潔癖觀の如く說くそれらの訓へは、全鮮の官場はいふまでもなく、職場にまた二千五百萬が銃後の決戰生活において座右銘とすべき一つの戰陣訓でもあらう

阿部中將遺骨　けふ羽田へ着

【東京電話】昨年七月以來南方派遣兵團長として活躍中の阿部平輔中將は去る六月十一日現地において公務遂行中殉職した、遺骨は卅日午後羽田飛行場着、翌七月一日宇都宮に向ふ豫定である

◇阿部中將略歷　宮城縣刈田郡宮村出身陸士卒、大正四年名古屋陸軍地方幼年學校副官、大正八年ウラジオ派遣部隊附、同九年陸士副官、同十三年教育總監部副官、昭和四年近衞第一聯隊大隊長、同八年參謀本部員、同十三年關東軍司令部附、同十四年部隊長としてノモンハン事件に參加、同十五年盛岡豫備士官學校長、同十六年七月京城師團長、同八月中將に任じ、翌十七年七月南方派遣兵團長として南方第一線に赴任した

急行列車の指定制實施　七月一日から

【鐵道局發表】鐵道省では七月一日より急行旅客列車乘車客に對し旅客の乘車すべき列車を指定することゝなった

即ち急行列車に乘車するには希望する列車の急行券を購求しなければ乘車出來ない、鮮內發內地行旅客に對する列車指定急行券は釜山棧橋出札所並に連絡船內に備置されてゐるからこれを利用されたい、各驛所で賣切れの際は下關驛でも購求することが出來る

なほ鮮內發着の朝鮮內急行列車券所發券は右の指定を要しない

打撲にしっぷ　デルモライツ

敵擊摧の新兵器
前線へドシ〳〵送れ　松尾大佐談

大東亞戰は日每に深刻なる樣相を呈し、武力必勝を期して敵もまた新鋭科學兵器を考案して我に對して應戰しつゝある、敵擊摧のためわれ等は凡ゆる困苦と犧牲に耐へて前線將兵に新鋭兵器を贈らねばならない、そして銃後一般も近代兵器に對する常識と科學思想を昂揚しなければならない、と朝鮮軍兵器部長松尾大佐は廿九日"世界兵器の趨勢"につき大要左の如く語った

【寫眞＝松尾兵器部長】

兵器はその時代の科學の粹を集めたものである、大戰に遭遇する每に各國とも兵器は異常の飛躍を遂げる、前世界大戰に獨逸は毒瓦斯を發明すれば聯合國は戰車を發明し、するなど豫期せぬものを次々に發明して常に敵の意表に出た、即ち奇襲兵器をもって敵の裝備を無效ならせ勝を制しようとするもので特に今次の大戰においては未だ奇想天外の兵器は出現してはゐないが、これに引きかへて高性能の兵器、新兵器及び新戰法が、戰車と對戰車砲、航空機と對空兵器、一方敵陣兵器の進步をあげてゐる、戰線の擴大と複雜な作戰に伴って上陸作戰、海上王座を占めて來たのが航空機である

航空機の種類は多數にあるが大別すると小型戰鬪機、輕爆擊機、重爆擊機の三種で、外國の戰鬪機の性能は双發單座で三、〇〇〇馬力、速度は八〇〇キロ、上昇限は一五、〇〇〇、火器は五〇ミリ機關砲、裝甲一〇ミリ、重量は一〇噸、爆彈量五〇〇キロ、行動半徑一、〇〇〇キロを狙ってそれ〳〵猛烈な研究が進められてゐる、輕爆擊機は馬力（現在二、〇〇〇を更に強化）速度（六〇〇キロ）上昇限（一〇、〇〇〇）火器（三七サンチ機關砲）裝甲（二〇ミリ）重量（一〇噸）爆彈量（二噸）行動半徑（一、五〇〇キロ）重爆擊機は四發多座で防火設備をなし馬力（四、〇〇〇）速度（六〇〇キロ）上昇限（一四、〇〇〇）火器（二〇ミリ大砲）裝甲は更に強化、重量（六〇噸）爆彈量（一〇噸）行動半徑（一〇、〇〇〇キロ）等恐らくそれは今まで夢想も許されなかった高性能の發揮を目指して研究製作の過程にある、そしてこれに對備する電波探信儀も異常に進步し、排氣ガス消炎裝置も研究ずみであり超高度一萬五千米以上の上空から地上の目標物の爆擊も可能となり精密爆擊も現在爆彈の三トン六の記錄を破らんとするものも出現してゐる、またロケット爆彈、時限爆彈、噴進カード等をもって大いに活躍してゐるのである

戰車も重量二〇トン、四五センチ砲六〇ミリ裝甲の輕戰車、重量四〇トン、八八ミリ主砲、八〇ミリ裝甲の中戰車、重戰車では六〇トン、一〇五ミリ主砲、二〇〇ミリ裝甲のもの、超重戰車は一〇〇トン、一五〇ミリ主砲二〇〇ミリ裝甲のものが出現して主力決戰場を暴れ廻ってゐるのである

その他兵力輸送のための裝甲兵車あり、水陸兩用戰車あり、實用化までには至ってゐないが飛行戰車、潛水戰車も考案されつゝある火器では高性能の對戰車砲（口徑七五ミリ以上）高射砲（口徑一二〇ミリ、射高一五、〇〇〇）ロケット砲、迫擊砲、步兵砲、野山砲、野戰榴彈砲、野戰加農、大口徑火砲、長距離砲で十二萬米射程）彈藥（穿甲彈、硬心彈、空中阻塞彈）等恐るべき威力をもつものがある、その他口徑の增大した眼[illegible]の小銃、自動小銃、機關銃[illegible]輕機關銃は重機關銃を兼ねるものに轉化、對戰車銃、擲榴彈、對空射擊銃等何れも進步を示してゐる

神經兵器においては超短波の活用が極めて活潑で擊飛行機に裝備し、敵機搜査に當り、また標定機判別機（彼我航空機を超短波で識別する）（敵機の近接を判定する超短波裝置）氣象觀測（有線）をなして識別する）高射砲の照準にはまた光學兵器としてはノクトビジョン（赤外線使用）により暗中交信する）或ひは敵地の車地雷、樹木地雷、大地雷、ラジオ地雷、分解組立トーチカ、ケーブル、金網道路、鐵板道路、ジャングル伐開車、伐掃戰車等の出現から通信兵器としては秘信、暗號通信機、光線電話（不可視光線使用）等戰前線で使用されてゐる各國はかくの如く競って新兵器の進步と大量製造に全力を傾倒してゐる、之に比して我國の新兵器は斷じて諸外國に劣ってはゐない、要は之が生産增強と操作訓練に更に一段の努力を拂ひ國民は大いに科學する心を昂揚して必勝の固めに任じなければならない

麥
供出に萬全期せ
農家の消費抑制要望

半島の麥の刈取りはほゞ六月末日で終り、直ちに乾燥、脫穀にとりかゝり、七月下旬から早くも農村は麥の供出期に入るが總督府農林局糧政課ではこの供出前における麥の早期確保を期し、各道を督勵してゐる

麥の作況と收穫豫想高に對しては全鮮からその報告蒐集を去る廿五日をもって終了、これを取纏めて近く發表することになってゐるが總督府は作況調査の正確徹底と、生産麥類の完全確保へ萬全をはかると共に、この確保如何によって本年度の食糧需給計畫に及ぼす影響が大きいので、農家における收穫期の多量消費、或は早食ひを抑制する一方、消費規正を促す

それには十分な準備と相俟って早期確保に農家自ら起ちあがり早く食ってしまふ樣なことをせず、近く供出割當數量の決定と同時に何時でも責任量を供出し得るやうに準備態勢を餘裕にし決戰食糧の增産政策と有機的に結びついた供出政策に農民の積極的協力を要望してゐる

強い軍國の母　青山東順さん

【海州】遂安郡遂安面石塘里政甫山[illegible]青山東順さん[illegible]は昨年十月夫に死別して以來長男相浩[illegible]二男祖俊[illegible]三男大雄[illegible]の三人の子供を率ゐて亡夫の經營した木工場を繼承し女の身ながら職工達を激勵しつゝ率先躬行不眠不休の稼働を續け夫ありし日の業績に劣ることなく勤儉貯蓄火の玉となって稼ぎ上げた貯金は亡夫の債務六千餘圓を淸算するのみならず東順さんの日夜神に祈っての願ひは三人の子供をよく育ちよく教養して立派な皇國民として國家の干城たらしめることである、家業經營に勵むことは勿論三人の子供の養育に專心しつゝ貯蓄に專念してゐる

農報全北班　七月二日歸還

【全州】朝鮮農業報國靑年隊全北班世名は去る五月卅日石川縣金澤市元小坂に派遣され、一ヶ月間出征軍人留守農家の手傳ひをする傍ら先進農家の合理的農法を習得し班長安岡馬龍氏に引率され元氣で七月二日午前七時廿一分全州驛着列車で歸還する事になった、なほ一同は神社に參拜し金村知事に歸還の挨拶を述べ午前九時より道第二會議室の座談會に臨み貴重な體驗を發表する筈

"戰ふ半島"に感嘆
著名雜誌代表ら北鮮を視察

【羅南電話】内地著名雜誌中央公論外七社編輯長の朝鮮視察團一行八名は西山總督府宣傳課長の案内で地方視察のコースを先づ北鮮にとり廿五日朝清津着、府內並に日鐵、北鮮科學博物館等を視察して朱乙溫泉に旅塵を洗ひ廿六日夜朱乙から咸興に向ったが、總力道聯盟宣傳部では廿六日午後四時朱乙溫泉千歲館に一行を迎へて座談會を開き各般を交へて感想を述べた、以下はその概要摘記である

▲立石道商工課長　咸北は産業資源的に極めて重要な地位を占めて居る——而もそれらの資源並に産業は重要な戰力資源が大部を占めて居る、鉛、石炭、水産林産更に最近發見されたジュリコン等々……産業咸北は正に躍進半島のナムバーワンである、各位は咸北のこの産業的重要性を充分に御認識願ひたい

▲野間氏（改造）内地では都市分散とか工業分散、企業整備をやってゐるが、清津あたりの大工業都市計畫などを見聞すると一向にそんなことに無關心のやうだがそれでよいのか

▲立石商工課長　國土計畫と工業立地については本府でも充分な計畫の下になされてゐるが要するに北鮮はこれから伸びるといふ所だから、寧ろそこ迄に到ってゐない…整備といふよりも誘致に力を入れてゐる

▲木内氏（中央公論）僕は北鮮を見てその伸劑に敬服した、今日内地への私信に…南方へ憧れるよりも先づ北鮮に來れ…と書いて出した、近頃の南方熱は素晴らしいが内地の人々は足許の朝鮮を忘れてゐる

▲西村氏（講談社）私は北鮮科學博物館を見て驚いた、これは優に内地にもない咸北の誇りだと思ふ

▲石原氏（主婦の友）私は十年前現役時代を當地に過したが、この十年間を距てての咸北の飛躍發展は實に聞きしに勝る素晴らしさで實は自分の目を疑ふ位だ、それは獨り生産方面丈ではない文化的にもその他あらゆる部面において然りだ、殊に百姓が非常によく働いて農作物が實と一體して居るのが目についた

▲米澤總力課長　ともすると內地の言論界に或は內地居住の內地人の一部に、内鮮一體を阻害するが如き理論を公開する者があって半島民の皇民化に惡影響を與へることがある、各位が中心となって斯る理論を一掃して頂き度い

▲寺澤氏（實業の日本）今少し內地と朝鮮を一貫した確然たる指導理念が確立しなければならぬそれには內地の人が今少し朝鮮を知らねば駄目だ、又朝鮮も內地と結びついて行くと云ふことを心がけねばならぬ、總力聯盟の如きも朝鮮丈のものでなく、內地に結びついた半島の宣傳機關として考へたい

▲西山宣傳課長　朝鮮の文化政策は今轉換期にある、つとめて內地に呼びかけて強く結びついて行かねばならぬと思ふ

▲寺澤氏　北鮮觀察の感得を要約すれば…北鮮を見ずして朝鮮を語る勿れと云はれて居るが私はその級列を掘りかへたい、朝鮮を見ずして戰ふ日本を語る勿れ、北鮮を見ずして朝鮮を語る勿れと、兎も角も北鮮の溌剌たる姿を見て大いに意を強くした

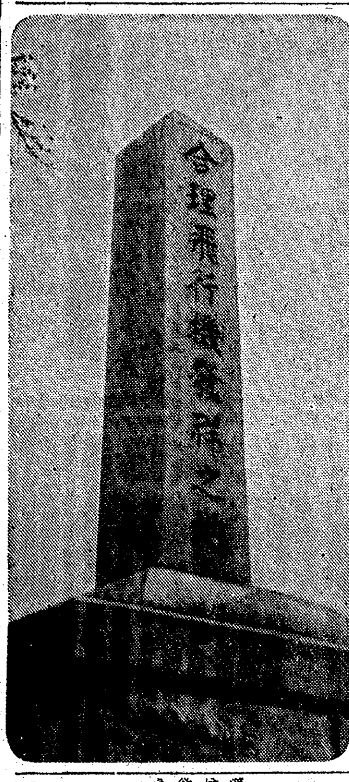
畏し皇太后陛下
救癩事業に御仁慈
療養所へ種子御下賜

【東京電話】皇太后陛下におかせられては常々救癩事業に厚き御心を注がせ給ひ、昭和五年以來諸事御節約あらせられて年々畏き御內帑金を下賜あらせられ癩患者の療養施設擴充の資とさせ給ふほか有難き御歌、御近影をはじめ花卉の苗木などを下賜あらせられるなど御仁慈の數々を垂れさせ給ひ、關係者一同は感激申上げてゐるが、この度全國各療養所に野菜および草花の種子を下賜あらせられる旨御沙汰あらせられ今般全國療養所長會議に參集の長島愛生園長光田健輔氏をはじめ全國十四の各療養所長は廿九日午前九時半大宮御所に伺候、大谷皇太后宮大夫を經て右有難き種子を拜受し救癩事業の概況につき大夫を經て種々報告申上げて恐懼退出したが、療養に勵む癩患者の上に寄せさせ給ふ限りなき御仁慈のほどに關係者は恐懼感激申上げてゐる

厚生大臣謹話　畏くも皇太后陛下におかせられましては癩患者御慰安の思召をもって本日會議のため上京中の國立癩療養所長に對しかねて御苑に栽培遊ばされたる花卉種子ならびに蔬菜種子を御下賜遊ばされました、顧み奉れば今日まで幾度か御下賜金を拜受し、また楓の實生、公孫樹、宿根樹、柿の種子など御下賜の御仁惠を垂れさせ給ひ、今回重ねて有難き御沙汰を拜した次第でありまして御仁慈のほど洵に恐懼感激に堪へません、私ども癩豫防事業に携はるものはさらに一層精進致したいと存ずる次第であります

征け空の決戰へ【上】

日露戰爭のさなか東昌公園（京城）に駐屯した看護兵二宮忠八氏は鴉が谷間を飛んでゐるのをみて空を飛ぶ發明に沒頭したといふからライト兄弟の發明と前後して日本でも空を飛ぶといふことは考へられ而もそのヒントは朝鮮から內地に移行したのだ、日本航空發祥の地ともいふべき半島の航空事情は內地の航空と密接な關係を持ちその發展過程も內地の航空と切り離すことは出來ないのだ、半島はいまや大東亞戰下光榮ある帝國の一環として戰爭完遂に火の玉となって突進し二千五百萬民のひたぶる心が大空の戰果へ凝結するとき「[illegible]」の誓ひは第一、第二の空の神兵育成に拍車をかけんとする半島航空界の生立ちをみよう


【寫眞＝京城東昌公園にある二宮忠八氏の記念碑】

天翔る仙人を羨む
初飛行に熱狂の民衆

"一…人…間…が…"　大空への憧れをいだいてから三千年の月日が流れる、天翔ける仙人の名は日本でも支那でも隨所にみられ、三保の松原に描かれた天人の羽衣はその最なるものだ、朝鮮では白頭山上の湖水に仙女がしば〳〵降りて水浴をしたといひ、高麗時代には李某なる一役人が秘かに空飛ぶ道具を發明して時の王の知遇を受けたといふ、朝鮮でも空への希望欲求はいづれの國とも同樣同じ過程を辿って來たのだ

我國における最初の飛行は今から卅三年前即ち明治四十三年十二月十九日新白き代々木の原で德川、日野兩大尉によって行はれた、この歴史的飛行から三年遲れて大正二年の春初めて飛行機が半島に勇姿を現した、民間飛行の草分けとして有名な奈良原三次氏の愛機「鳳」號は龍山練兵場で飛行を實演し當時の半島民衆を熱狂するほど驚かしたのが半島の處女航空であった、この前後我國の航空は文字通り日進月步をつゞけ、大正三年青島攻略戰には早くも我空軍が出動し、陸海空軍の建設はもとより民間航空の發達も目覺しかったが半島の青空に爆音をしげしげと聞くやうになったのは世界大戰後の海外大飛行時代である

"當…時…は…"　外國から訪日飛行をする飛行機、日本から訪外飛行をする飛行機のどれもが大抵半島の空を飛び、龍翼を半島に休めた、外國機訪日飛行の最初は大正八年八月伊太利のヘエラリン中尉の完成した羅馬、東京間の大飛行であった、之が外國機訪日飛行の最初であると共に半島訪問外國機の最初でもあった、長距離飛行の波に乘った我空軍も大正九年陸軍は所澤、京城間長距離飛行を計畫し春三月九日安藤、田中兩中尉、和田、小關、寺元各中尉機は朝鮮海峽を見事横斷して京城に着陸した、朝鮮海峽最初の横斷で半島空界の歴史的盛事であった

ついで翌年九月には日支連絡の長春を結ぶ二千六百粁の大飛行を十六時間十五分で征服したこの飛行の發案樋口中尉は京城で翼を休めたのだ、內地ではこの年航空法が公布され從來陸軍省の管下にあった航空局が大正十二年に遞信省の主管となり民間航空の異常な發展となった、

第二番目の外國機として佛國西のドアジー中尉が大正十三年春東京から長驅京城に飛翔し、翌日大邱を經由して內地に向った、大正十四年七月恰もこの海外飛行來訪時代の潮流に乘って大阪朝日新聞の決行した「初風」「東風」の訪歐大飛行は、往路復路とも光輝ある足跡を半島に印したが然し半島に基地をもつ飛行は大正十一年春に陸軍部隊が置かれたのが初めてゞ朝鮮航空史の第一頁たる歴史的巨步である、この年こそ日本一代の巨星、空の軍神加藤建夫少將が所澤飛行學校卒業後少尉時代を送った由緣の地なのだ

"そ…の…身…"　はベンガルの[illegible]に沈まるともその不屈の航空魂は永遠の生命に繫り新日本の次代を背負ふ若人に強烈なる息吹きをつたへ、第二、第三の神鷲の誕出をねがふのだ、昭和二年航空兵大尉西尾三郎氏が野に下って來鮮、京城の有志と圖って資本金三萬圓の株式會社朝鮮航空研究所を創設したのが民間航空の最初で明けて昭和三年には津田沼飛行學校を卒業した愼鏞平氏（朝鮮航空事業社長）が獨力で京城に朝鮮飛行學校を創設し半島民間航空の開拓に努力した、兩氏は半島民間航空の草分ともいふべきであらう

大正二年初めて半島に飛行機をみてから昭和四年定期航空を開始するまで十六年間半島の空を通過し或は翼を休めた外國機國內機の數は實に夥しいものだ、この一事をみても大陸と內地を繋ぐ半島が中間基地としての位を占めると同時に半島二千五百萬民は空への關心を一層高め國防航空の完璧を期すると共に更に第二、第三の空の勇士を送り出さねばならないのだ

朝鮮みやげ　本町入口　バカチエ菸品　大和軒

嚴肅に"大祓の儀"
けふ全國一齊に執行

けふ卅日、全國に亘って神社に、職場に、各家庭に大祓の儀を嚴かに執行、半島二千五百萬皇民は決戰下、この半ケ年の罪穢を祓ひ淨め、純忠清新な決意を固めて聖戰完遂へ邁進する覺悟を新たにする、この日京城では午前八時から京城神社の儀についで、朝鮮神宮では午後三時から二千五百萬皇民の赤誠をこめた大祓式を嚴肅盛大に執り行ふ

小磯總督、田中政務總監、總督府各局課長、波田事務局總長をはじめ總力聯盟各部課長、中樞院參議、民間代表、學校代表職員學生々徒ら約六百名が神宮拜殿南廣場に參列して大祓の式に神意を體して銃後の護りを固くするのである

日婦會員の獻金

【報恩】郡內懷北面中央里日婦會員一同は嚴に壯烈な戰死を遂げた山本元帥及び北方アッツ島に玉碎せる部隊の戰に感謝の意を表し銃後婦人としての氣魄を表示すべく會員相謀り共同作業の賃金と共に一般から獻金を取纏めた金一百四十圓五十錢を飛行機獻納金としてこの程所轄警察官駐在所を經て寄託した

話題特急

☆…ドン、ドン、ドン太鼓の音が勇ましく響き渡るとクソレツ、網だ、はたきだ—と百餘名の職員がめい〳〵の部屋から飛び出して大掃除にとりかゝる

☆…卅日の大祓に先立って本府內の總力聯盟事務局が廿九日午後二時から局舍を清掃する敢鬪ぶりである、波田總長をはじめ職員、生活部長ら幹部の大部分は遁くべからざる公用で外出、たゞ獨り津田宣傳部長がその陣頭を指揮して、これに男も女の職員も、給仕君も小使さんも素晴らしくなってつゞき、窓ガラスから床の上、天井の隅、さてはごみ淨までと清掃の熱汗は流れる

☆…崇高にして尊いその姿には神前に不淨を祓ひ清めて心身ともに新しくして決戰を乘り切らうとする二千五百萬の決意が燃えてゐるかのやうだ

青年分隊長の錬成

【大田】錬成の挺身を誓って殉じく進軍する靑年隊の鬪志をかりたて忠南道では來月下旬から八月上旬にかけて靑年隊中堅分隊長錬成會を開催、集團生活、合宿訓練、敬神勤勞作業を通じ鞏固な精神力の所有者をねばることになった、錬成會は瑞山郡浮石寺、公州郡麻谷寺、同郡甲寺、保寧郡無量寺の四個所で開催するが錬成期間は各四日間宛である

學徒部隊の掘鑿工事

【興南】市內興南工業學校では興南方面約五十町步に亘る天水畓地區の水源發掘工事が目下部落民の手に依って繰り展げてゐる湖北川へ千餘名の學童班を繰り出し去る廿八日より午前八時から午後四時迄約五日間、授業に代る汗の奉仕を捧げる事となり、鬪ふ食糧增産陣に話題を飾ってゐる

陸軍御用　田賀永雄謹製
下痢・腹痛
健胃整腸劑
奮鬪丸
總代理店　中西武商店　神戶 大阪 東京　振替大阪一〇五・一〇〇
各地有名藥店ニアリ

頭をよくせよ
學校で成績をよくし試驗に合格したい學生諸君や、仕事の能率を增進したい人へ「ソール」療法を、くはしく說明した、「頭をよくする道」といふ寳本を無代で進呈します。今スグ、左記へハガキでお申込み下さい。
愛知縣矢作町五二九　昭和學會

府廳前大廣門横入　電光四〇〇二
花柳病專門　恒松醫院

鍾路靑年會館横入
性病科專門　洪震求医院　(光)494

月やく　[illegible]　テリ止

公示催告　昭和十八年民申第一二三四號
京城府東大門區新設町二八〇ノ六　申立人　李[illegible]
[illegible]
昭和十八年六月二十四日　京城地方法院

公示催告　昭和十八年民申第一二三三號
京城府東大門區新設町二八〇ノ六　申立人　李[illegible]
[illegible]
昭和十八年六月二十四日　京城地方法院

第四拾四期決算公告　貸借對照表
[illegible]
朝鮮火藥銃砲株式會社

第九期決算公告　貸借對照表
[illegible]

第五期決算公告　昭和十八年五月卅一日現在　貸借對照表
[illegible]
朝鮮金商工業株式會社

第拾四期貸借對照表　昭和十八年五月卅一日現在
[illegible]
日本精工株式會社

第拾貳期貸借對照表　昭和十八年五月卅一日現在
[illegible]
弘中商工株式會社

大東實業株式會社
[illegible]

第七期決算公告　昭和十八年三月卅一日現在　貸借對照表
[illegible]
地球鉛筆朝鮮販賣株式會社

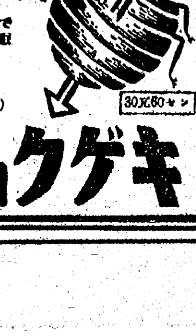
第六期決算公告　昭和十八年五月三十一日現在　貸借對照表
[illegible]
朝鮮產業株式會社

解傭廣告
金村幸吉
右の者都合に依り退社仕候間今後弊社とは一切關係無之候
昭和十八年六月二十九日
京城府明治町二ノ一〇七　植村藥品有限會社

內地行勞務者募集
一、職種　土木工事（就業地北海道）
一、應募資格　年齡滿二十歲以上四十五歲迄の男子
一、待遇　初任日給二圓二〇錢、其他規定
一、申込締切　七月十二日迄に左記へ申込むべし　其の他詳細に就ては來所の上問合すこと
京城職業紹介所

ワキガ　を治すには今が一番好い時期です
自宅療法說明書差上ます
わきがにて永年苦んだ私が發見した自宅療法の說明書を御希望の方に知らせ致します
名古屋市中村區則武町五ノ二目六　野村久子

皮膚病にスカサル


南京虫　強力退治薬
一殺で一殺　一がにんまきで一皆で
(デリス製剤)　30瓦60セン
チョクゲキ
植村製藥株式會社

新に錬成部を設立
府聯盟の推進力强化

區制の實施に伴ひ府民の生活に直接關係を持つ第一線事務は區役所に移つたが京城府ではこれと併行して總力運動の推進機關たる府聯盟並びに區支部の充實强化を圖るべく過日來總力課で準備を進めた結果次のやうな具體案を決定、決戰する京城府民の總力運動は一段に刷新强化されることになつた

これによると府聯盟は從來の總務、經濟、防衛の三部門のほか新に錬成部を新設、評議員會を廢し參與制度を設けた譯で區役所區の各支部の支部長には區長が任命され、また總務、防衛の第一線には總力推進の實踐體となる總力委員が置かれることとなつた

今回の改組により評議員制が廢止されたのは聯盟の指導委員會に統一するためで、聯盟は運動の推進實體にあるからその實行力を强ずる理事に千田府總務部長を始め人材を選び新に三十三名を增員したのである、なほ區役所の總力委員は各區に應じて近く人選されることとなつてをり、本委員の決定を待つて來月初旬役員會を開き本年度の事業計畫について打合を行ふ

今回の改組による新陣容左の如し

◇顧問　田中鐵三郎、韓相龍、伊東致昊、穗積眞六郎、伊達四雄、安倍良夫、谷多喜磨
◇參與　鳥川僑源、朴丸夫、大家虎之助、高宮太平、金川聖、齋藤五吉、李丙吉、生沼官郎、松本一郎、田村浩
◇理事　千田專平、星村宗德、伊格夫、濱田虎熊、小野寺秀雄、奧山仙三、中村都一、藤原伊三、中本弘頌、正岡富一、佐野吉作、泉川秀雄、樋口仁久、谷重榮作、福田定雄、瀬口貞二、湯山清一、黑木能壽丸、三和卓、福島二一、市木孝嗣、福羅重臣、長谷川三、肥塚正太、近藤謙郎、白石甚吉、夏山茂、山口友造、松川明學、松川宗瑛、奧井喜啓、井垣圭復、李家源甫、杉山茂一、瑞山清、井上みな、花村芳子、高元勳、河野宗一、石原義次郎、武田善曉、若川俊、萩野順導、福澤玲子、高橋濱吉、小林唯東、竹島榮雄、市秋弘、栗原柱三、笠谷保太郎、松岡修雄、野呂武雄、朴興植、富岡正光、寺田英一、田中三郎、鎌田澤一郎三名
◇部長（總務部長）杉山茂一、（錬成部長）千田專平（經濟部長）濱田虎熊、（防衛部長）藤原伊三

警官の純情
不良青年改悛

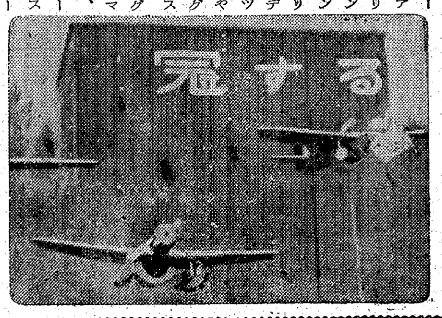
不良青年を立派な皇民に錬心させた警官の佳話——京城新堂町立山源夫君（假名）は母一人、兄一人兄弟の間に育つた至醇な青年だが、中學を出てから不良の仲間に入りすさむになつて度々警察の厄介になつてゐた、ところがこの程同君に徴兵檢査の知らせがあつて急ぎ内地の檢査場へ向はねばならなかつたが旅費無一文で名譽のお召にも浴されぬ不幸に今更前非を悔いてゐたところ日頃から同君の改悛の機會を待つてゐた城東署員的場敷雄巡査は早速立山青年を呼んで訓戒を加へると共に京城で受檢出來るやう奔走した結果廿九日めでたく甲種に合格、更に感激を強めた立山君は全く善良な青年に立返つて晴れの入營日を待つことになつた

貯蓄に示す愛國心
祥明實踐女生の至情

十二億貯蓄の突破、二千五百萬同胞は血みどろの敢鬪を續けてゐるとき、これはまた銃後乙女が綴る麗はしい貯蓄の進軍譜——京城祥明實踐女學校では芳村校長の音頭で全校生の貯蓄精神を昂揚、多大の實績を擧げてゐるが、今年度の十二億圓目標高が決定するや愛國の至情に燃える同校生四百五十名は"十二億貯蓄は乙女の手から"と自發的に貯蓄報國を申合せ、各自が學資を節約、一圓づゝを取り纏めた金四百五十圓を學校に差出し、擊ちてし止まむの戰ふ乙女の決意を示した生徒達の奮起に感激した同校では早速これを光化門郵便局に個人通帳の据置預金とすることになつたが、今後は全校生の貯蓄熱に應へ毎月一圓づゝを取りまとめのうへ繼續預金を行ふ

龍山署の寄託獻金

廿九日龍山署に寄せられた獻金 ▲四十歳位になる内地人の女が訪れて"些少ですが何か國のお役に立てゝ下さい"と卅圓を差出して名前も告げず立ち去つた ▲大島町八ノ六二富岡稲作さんは皇軍の赫々たる戰果に感激して廿圓を國防獻金へ



街の窓問
敵機よ來たれ

商店の飾窓を供出して府民の時局知識に賑へよう、と黃金町二丁目の早川造型社では"皆さん敵機の型がお判りですか"とお手の物の巧な模型で米のノースアメリカン、スーパーマリン、カーチス、ダグラス、ロッキード、ブリュースター、ヴォート……など英米の敵機数十機を作り、ラクミラのエンジン、ダグラス・グマン、ボーイング、ホーク、チャンス、ヴォートなど翌機の……"何時でも來い"と街の人氣を集めてゐる【寫眞＝飾窓に模型飛行機】

牛乳は貴重です
配達人が集めた諸相

牛乳の配給が統制されて乳幼兒病人以外は著しく規正をみてゐるが貴重な牛乳の飲用に當つて未だに"戰ふ生活"意識に乏しい……と嘆く牛乳配達人の聲 廿八日午後二時府内貞洞町京城牛乳販賣組合議室で肥塚組合長以下組合配達從業員七十名出席して配達人の懇談會を開催國民儀禮について千田府總務部長は牛乳の配給状況について

諸君は決戰下に於ける大切な物資の配給係であるとの意識の下に公正且敏速な仕事振りを示してほしい

と激勵あり、終つて從業員の座談會に移り配達人側の見た配給に就ての意見や希望或は非難が次の如く續出して賑つた

一、統制前は情實による配達も多かつたが統制後は診斷書が絶對必要なところから無駄な配給は殆ど跡を絶つた
一、診斷書、證明書によつて配給順位が定つたため從來配給を受けた者の一部に配給が停止され不平の聲を聞く
一、現在の配達先にも家庭の事情で全部を消費してゐない向もあるがこれは不必要な向に濫用されてゐる模様である
一、また手續が面倒なため入用の向も遠慮したりあきらめたりしてゐる實情には考へさせられる
一、牛乳と練粉乳と併用のため牛乳を廢す向もあるがこれは勿體ない
一、幼兒の成長などによる增量の場合再度申請の規定は營養制の趣旨に違反するものではないかと屢々抗議を聞かされる
一、診斷書と同時に需要者住宅附近略圖を添へてほしい

行旅病死者の追悼法要
瑞龍寺で執行

哀れ路傍の草と散り果てた薄倖の行旅病死者の慰靈祭——京城龍山佛教慈濟院では昨年度收容行旅病者中死亡した百七十七名及び京城府管内の行旅死者四百八十四名の追悼法要を廿九日午後二時から元町の瑞龍寺でしめやかに執行 來賓として福島龍山區長、京城府岡部社會課長、谷重龍山署長、伊藤城大醫學部長、宮崎西大門刑務所長はじめ關係者卅名參列身寄りなき不遇の無縁佛諸靈の冥福を祈つて同三時終了した【寫眞＝その法要】

記念の獻金

京城芳山國民校六年李由善雄君(二)は廿九日本社を通じ、陸、海軍へ百圓づゝを國防獻金、百圓を朝鮮社會事業協會へ寄附した 同君はこのたび父の急逝にあひその遺業國工業平山製作所を母と共に引繼ぐを記念するのでその記念に獻金したもの

不潔な浴場に斷
鍾路署が取締を強化

決戰下、國民保健の確保と都市衞生の美化を圖るため鍾路署衞生係では近く管下主任指揮の下に管內浴場の一齊點檢を斷行することになつた

暑さと共に一般家庭はもとより多人の集合場所は知らずくのうちに不潔となり都市の衞生と美化に多大の支障を來たしてゐるが

特に最近都市生活に缺くべからざる浴場の不潔さは非衞の極となつてをり、當局から再三各業者に警告を發したが、依然として何等衞生施設を圖らないので、今後點檢のうへ、衞生を無視し營利主義に走る業者には鐵槌を下すとともに惡質業者に對しては營業停止を命ずることになつた

研武館柔道大會

壽松町朝鮮研武館では七月四日午後一時半から同館で第廿三回定期柔道大會を開催する

闘ひとれ目標額
仁川で貯蓄の殊勳甲表彰

大東亞戰爭完遂必勝の決意を貯蓄にもりあげる"十二億貯蓄強調"は仁川府聯盟のかけ聲で總力あげて目標完遂の運動が去る十六日から廿日まで展開、浮遊購買力を吸收する六月中の貯蓄を狙つて債券、國債の抱きあはせと戰時國民生活の確保を期する一般の自覺とによつてすこぶる好調をつゞけてゐるが、さらに戰時貯蓄の徹底に拍車をかけるため府總力課では廿九日から府下各地域貯蓄組合長を府會議室に集め各組合創設以來からさらに將來目標完遂を期する六月末現在の貯蓄状況、既定計畫、貯蓄獎勵上の秘訣をなす組合規約などの審査を嚴格公開により嚴密に開始、道知事と府尹の名により"貯蓄戰線の殊勳甲"を表彰、戰時貯蓄と國債消化に邁進して十八貯蓄年度中の目標完遂を期して貯蓄總進軍に拍車をかける

半島縮刷版

興南の府昇格陳情

【咸興】府制の施行成るか、それとも無期延期か——興南府昇格をみてゐるながら行政簡素化に逆戻しそのまゝ延期となつて今日に至りその成行がすこぶる注目されてゐる興南邑の府制施行問題は去る十九日の邑會で再燃しあくまでこれが實現を目指して邑會では陳情書を本府および道當局へ提出することに決定、近く邑會議員全員が上道して、府制實施を陳情することになつた

邑內市場を清掃

【興南】"不潔でうるさい"といふ芳しくない言葉を顧みて邑內各市場の明朗性を期する邑では店開きを前に出入商人を總動員、毎朝清掃作業を行はしめると共に約廿分間の反省時間を設け心も身も潔き取引を行ふやう七月一日から實施方を示達した

保健衞生懇談會

【平壤】寸分の油斷も隙もなく總決戰の真只中で決戰下の職域に挺身してゐる從業員の保健衞生に萬遺漏なきを期し人的資源の確保、殘業防止、輸送の使命達成に資すべく、平壤鐵道事務所では中村診療所長司會の下に同所應接間において廿八日午前九時から衞生懇談會を開き、生命の保證である結核の早期發見に努めるは勿論、そこに至る要因に至るまで徹底的に捕捉し殲滅しようとする根本對策を講ずることとなつた、懇談研究事項は次の通り

定期體格檢査方法、及び發見對策▲右に依り結核を早期發見せる場合の處置方▲右に對する所屬長の意見▲一定年齡迄相當精密なる健康證を各所屬に備付け醫師と連絡し監視する必要なきや▲各種職域に對する意見

麥稈屋根を獎勵

【大邱】農家葺屋根を內鮮折衷式麥稈（小麥、ライ麥稈に限る）屋根葺に改良せしめ、稻藁消費節約と毎年營に要する勞力を農產物增產に活用せしめるため、慶北道では道內全般に呼びかけ麥稈屋根葺獎勵運動を乘り出した

先づ今年度の改善を見れば小麥栽培面積は豐異七千九百卅九町步でこれに對する麥稈生產見込數量は九百廿六萬二千貫であるまた今年度に實施すべき屋根葺改良戶數は二萬七千五百戶、全所要數量九百五十萬貫（一戶當所要百貫）となつてゐる

紙芝居の講習會

【錦山】金融組合では廿五日午後二時警察演武場で朝鮮金融聯合紙芝居大家菊川與鵬氏を迎へ鎭安、茂朱、錦山三ケ郡下各金組職員を始め地元の各官公署團體職員出席し、時局下農村文化に重大なる役割を果してゐる紙芝居の講習會を開催、同五時半終了した

仁川府內で海軍展

米英擊滅に死鬪するわが無敵海軍の眼で見る輝かしい戰果と擊ちて止まむ熱烈意志の"海軍魂"を一堂に收めて決戰半島の必勝の決意を一だんと強化するとともに半島をあげて"陸海軍兵"のよろこびにひたる海軍特別志願兵實施を記念するため仁川府聯盟では七月廿二日から六日間山手町公會堂で戰利品、血書、第一線と銃後家庭を結ぶ美談を織込む勇士らの手紙な展示する"米英擊滅大海軍展"を開催、ひろく一般に供覽することとなつた

食糧配給の訓練

永登浦食糧報國隊では有事の際の食糧配給を完璧ならしめるため隊員の訓練を廿七日行つた、岩永隊長以下百三十名が警察署庭に集合約二時間に亘り軍事教練並に配給の實地訓練をした

龍山衞組聯合會總會

衞生思想を普及し建全明朗な街の建設に活動する龍山衞生組合聯合會總會は廿九日午前十一時から龍山署武道場で谷重會長各町衞生組合長ら七十名出席のもとに開き、十八年度歲入歲出豫算案並に事業計畫を審議、午後一時閉會した、なほ本年度事業計畫は次の通り

▲春秋大掃除及臨時大掃除實施▲蠅取器の配布▲衞生思想普及並に映畫會開催▲鼠の驅除實施▲傳染病豫防注射並に防疫宣傳▲赤痢內服藥の配布▲消毒藥の配布

豆腐配給組合創立

廿九日午後三時金千代會館六階で京城豆腐配給統制組合創立總會を開催、從來の漢城、京城兩豆腐組合を合併して京城府の指導の下に愛國班單位に新機構による豆腐の圓滑な配給を行ふ

巷の雜信

衣料買漁り

お待ちかねの混紡衣料品が最近府內の各商店に入荷、思ひくの方法で賣り撒いてゐるが、買漁り部隊が押寄せるので永登浦署經濟係では管內の各商店に對し販賣時間を制限、何れも同一時刻に賣出すことにし物資の偏流を防止して來たが依然行列買が絶えず甚だしきは甲の店から乙の店へと同一商品を買漁る傾向にあるので廿九日早朝石川主任以下全係員總動員で一齊取締を行ひ二十餘名を檢擧した

飲逃げ捕る

高陽郡纛島面西纛島里七二野菜行商高成萬(二五)、同一三〇馬車挽き盤田德成(三〇)、同六九運搬業河本命龍(二七)三名は廿八日午後十時ごろ黃金町七飲食店井元東雲方で卅四圓五十錢を飲食のうへ、二圓だけを投げ出して逃走したが、後を追跡の井元に京春街頭で取押へられて東大門署で取調中

闇行商檢擧

東大門署では廿九日管內露店行商の一齊を行ひ、新設町永水商藥元植(三〇)ほか數名を引致取調中であるこれら一味は東大門方面の大通りを我が物顏に公價の約三倍の暴利を貪つてゐたもので斷乎鐵鎚を加へることとなつたがこれは單なる闇行爲だけでなく、統制配給品にも拘らず、中間卸業者から直接闇値で露店商と横流れする傾向があるので、今後とも嚴重取締りを斷行する

ラジオ　30日

朝 ▲六・三〇愛國ひと現代生活講口駒造▲九・〇〇朗讀武田勝賴夫人—桑田忠親・作▲九・三〇（城）國語會話の時間（鮮家庭向）

晝 〇・三〇吹奏樂▲一・〇〇昔の婦人と服裝瀨川清子▲二・〇〇國民學校放送『高學年の時間』▲二・三〇（城）產業用語講座▲四・〇〇國民學校放送『敎師の時間』▲四・三〇（城）婦人ラジオ學校（鮮語）

夜 六・〇〇少國民の時間シンブン（城）六月の回顧▲七・三〇（城）石油專賣の實施に就て總督府殖產局勅任事務官信原聖▲八・〇〇（城）働く婦人の夕一、決戰下の女性へ 國民總力朝鮮聯盟總務部長龍牛凡夫二、職場の決意つを、京城中央電話局交換監督美島ウノト三、朗吟四、愛國詩五、歌とマンドリン六、座談會（鮮語）我が職場の婦人戰士を語る七、歌と輕音樂（鮮語）"樂しい一日"▲一〇・〇〇時報、報道（城）番組豫告

大いなる祭【173】

中野實（作）　三芳悌吉（繪）

大いなる祭（五）

『すこし目まひがするんですわ、かたつむりのせいですわ』

『かたつむり？』

ラクミストロスキーの目はきらりと光つて女客にそゝがれた。

『藥があつたら下さい』

『なんの藥』

『二十一番の藥』

こんな不思議な會話が二人の間に交はされた。すると、ラクミストロスキーは、瀨入の青年に店番を吩付けてから、何か意味あり氣な目配せを彼女に送つて先に立つた。

かたつむりの二十一番——それは金白髭に與へられた間諜の符號であつた。もちろん、彼等の間では、番號名による組織だけで、本人の姓名も職業もお互ひに嚴秘に附されてゐたのである。

彼女は薄暗い階段を上つて二階の一間へ通された。そこはラクミストロスキーの居間であるらしく見たところ別になんの不思議もなかつたが異樣に大きなペーチカが目についた。

『一すこゝで待つてゐて下さい』

ラクミストロスキーは、改めて鋭い一瞥を彼女にくれてから、次の間に消えた

彼女はハンドバツグから鏡を出して口紅をひき始めた。こゝで迂濶に動いてはならぬ。どこで彼女の行動を監視されてゐるか知れないからだつた……

彼女を一人居間に殘してラクミストロスキーは厚い壁の二重扉を押して次の部屋の人となつた。うしろ手で扉をしめた彼の視線が展びたところに、僧服をつけ、鼻眼鏡をかけたアンドレ・サルユが、何か一心に机に向つて調べものをしてゐた。

『おゝ、君』

と、アンドレ・サルユは書類から目をはなさずに、

『どうしても、この無電一ケ所解讀出來ないんだがね』

と早口のアクセントもたしかな英語で、

『飛行場との連絡までは判るんだが、完成したのか、それとも交渉中なのか、肝腎の點が不明ぢやあないか』

『では、問ひ合はせてみませう』

『いや、待ちたまへ』

とサルユは考へ深げに、

『よつぽど愼重にやらないといかん。どうもこの頃、われわれの無電を日本側に傍受されてゐるやうな氣がしてならん。發信の時間をかへてみたらどうかと思ふのだ』

『それは贊成です。ところで、サルユさん』

とラクミストロスキーは、サルユに近づいて、

『今、かたつむりの廿一番と名乘る女が店へやつて來たのです』

『かたつむりの二十一番』

『さうです』

『どんな女だ』

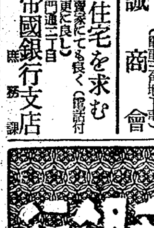
『支那人かとも思ひます。しかしよく判りません。半島人にも見えるのです』

『そして用件は』

『まだ聞いて居りません。あなたに一度報告してからと思ひまして……』

『さう。よろしい。こゝへ通してくれたまへ。が、君は……』

とサルユは彼に何か低聲で命じた。



ライオン歯磨

歯質を傷めぬ　粒子の細かさ均等さ　爽快な香味素質　歯の汚れのとれ工合

登記公告

[illegible]

京日案内

種別	案内料金（前金）
一號型（三行）	一件一回税込 金參円參拾錢
二號型（五行）	金五円五拾錢
三號型（十行）	金拾壹円
求職一號型	金壹円六拾五錢
姓名在社料	毎一回 壹円拾錢

姓名在社の御照會は午前九時より午後五時まで廣告部へ御問合せの事

一號型（三行）

婦人 留守番身元確實な九州の婦人子供なき夫婦者でも可 吉野町一ノ一二七交番前都丸

賄婦 至急入用四十歳以上五十歳迄の婦人委細面談の上 本町四丁目三六 中島政治

店員 入用男子二十三歳迄の身元確實なる者希望者は正午より來談あれ 初音町一五三三 和商會

求醫 師及助手 仁川府京町一五七 外科 森山醫院

代書 所讓受度、封書により御一報下さい 城北町一七〇ノ二〇 氣付 岡村

貸間 四疊半一、食事室別 中國九州の夫婦者に限る 延禧町一九四 松田

素人下宿 御世話下さい 御子息の勉強相手も致します 當方城大醫科生 電東二一二三番

二號型（五行）

女子事務員採用 高女卒程度二十五歲迄の者 至急持參來店されたし 三ノ九二 株式會社吉川商店

賄婦を求む 四十歲前後通勤住込可 北米倉町一三 面談 本人來談 泰洋行

美容 技術修得 美容室 勤 二ケ年以上の經驗者至急採用 本町二丁目 朝鮮銀行横 原田美容室

寫眞製版機 一式 只今營業中 京城光化門郵便局止め 南原

家庭教師 責任持つて御世話致します 御求めの方は左記迄御一報下さい 府內東京町 城大學生部 東三一二〇

三號型（十行）

社員募集 四十歲未滿の男子にして本州、四國、九州方面の者自筆の履歷書持參來社せられたし 京城府黃金町貳丁目九拾九番地 株式會社朝鮮取引所

ベントナイト 給仕採用 地方經驗者 國民學校卒十六、七歲 希望者は自筆履歷書持參の事 京城府昌信町六五一ノ三 朝鮮膠質粘土商會

求工場 京城府內にて至急讓受け又は借り受け度し 工場建坪五〇坪程度事務所付き（拾坪程）倉庫住宅付きにても可 電話（東）二三六一

男子事務員募集 中等學校卒業年令滿二十五歲迄ノ者、希望者は自筆の履歷書御送付の事面會日追て通知す 仁川府松峴町六十六番地 日本車輛製造株式會社 仁川支店

工場讓受たし 一、堅牢なる建物 一、敷地五千坪及五百坪の二ケ所 一、場所府內若は郊外を望む 南大門通二丁目 新井藥房

女子社員採用 高女卒業程度、希望者は履歷書持參來談のこと（已むを得ざる場合は郵送にても可）南大門通四ノ一 金千代ビル アサヒゴム會社 京城出張所

會計事務員採用 男子中等學校卒業者、女子高女卒業程度 但し市內居住者に限る 履歷書持參の事 京城府龍山區漢江通 京城製絲 電話龍山六九八番

タイピスト採用 高女卒程度一年以上の經驗者 右事務職にて本人來社の事 京城府龍山區漢江通一丁目四十一番地 誠商會

高級住宅を求む 貸家又は賣家にても良し（電話付きなれば更に良し）南大門通三丁目 帝國銀行支店 庶務課

朝鮮殖產銀行

火災保險 運送保險 海上保險 家財 商品 建物
朝鮮火災 京城府太平通

鍋トロ車輪 共 全部鋳鋼製三〇〇台
重油船用機關 中古四台
シヤフトスクリユー 一五〇馬力 福岡市 林繁道工業所

電話開通 東局（5）二七八六番 塚田貨物自動車部

男性ホルモン ユーステロン 注射劑 錠劑

地下水 鑿井 工場用水 飲料用水 防空用水 京城府 地水社

京城 都藥房 獨特秘藥 惡性の 優 藥 京城府 都藥房

イーナル

電話 京日案內ノ御用命ハ 電話本局八五六二番 京日案內廣告社

劇場	番組
京城寶塚劇場	廿四日より卅日まで 日本ニュース 第一五八號 都運城 若き日の歡び
城寶劇場	二十四日より三十日迄 ニュース 都運城 若き日の歡び
若草劇場	廿四日より卅日迄上映時間表 高原の村 日本ニュース 暖き風
京日文化劇場	二十四日—三十日 家庭ラの ニツポンバンザイ 大型燒夷彈 日本ニュース 最新報
明治座	今週の上映時間表 日本ニュース 高原の村 暖き風
城南劇場	二十六日ヨリ五日間 日本ニュース 文化映畫 積雲 風雪の春
中央劇場	二十六日より三十日まで 日本ニュース 大映 積雲 風雪の春
和信映畫館	二十四日より卅日まで 日本ニュース ホームグラフ パッサンポン 大型燒夷彈
朝日座	二十六日より六日間 二十八日より三日間 ナカリ演藝團
桃花劇場	日本ニュース 雪國の馬 三代の盃
喜樂館	廿六日ヨリ五日間 日本ニュース 海の探究 家に三男二女あり
浪花館	二十八日より四日間 ニュース 道 大菩薩峠
新富座	二十八日より四日間 希望音樂會 職場の公休日 日本ニュース
東洋劇場	青春座公演 鼻鳴く夜
大陸劇場	六月廿六日ヨリ卅日迄 日本ニュース 文化映畫 家に三男二女あり
第一劇場	場內修繕の爲休館仕り候

登記公告

[illegible]

タイピスト募集

一、滿十五歲以上…
一、時…

株式會社朝鮮機械製作所

行け南方共榮圈へ大陸へ
大日本海外青年會

マライの虎（ハリマオ）

大映作品 中田弘二 南部章三 村田宏壽 國分ミサ子 浦邊粂子 他

暁の銃聲だ！血潮だ！無氣味なこの一瞬

マライ全土を震撼せしめ、英官憲の恐怖的である俠盜ハリマオの仕業！

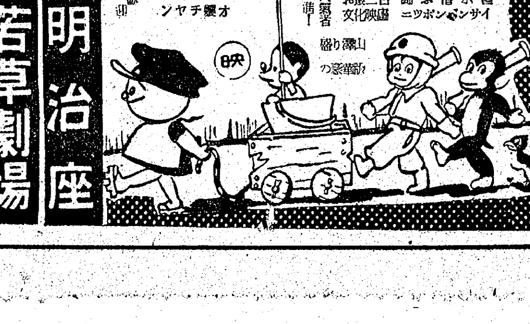
七月一日封切 京城寶塚劇場・京城劇場 明治座・若草劇場

日映 新作戰の記錄

大陸新戰場

七月一日ヨリ 今週はどうぞ御待ち兼ねの

明治座 若草劇場



七月劈頭 白系今晴封切

傑作日本マンガ 漫畫映畫 マンガ決戰大会

フクチャンの增產部隊 お山の防空陣 マー坊の落下傘部隊 ナカヨシ行進曲 お猿三吉 闘ふ潛水艦 ニッポンバンザイ

マンガ界の人氣者一齊大行進！

登記公告

[illegible]

夕刊
京城日報
京城府太平通一丁目三十一番地
發行所 合資會社京城日報社

重點配給を確立
賣捌に既存機構を活用
石油專賣・三規則(七月一日より實施)

近代戰に生產力擴充の中樞物資として、石油は國家興亡の根基となり、その重要性は益々增大しつゝあるが、政府はこれが需給を確保し、重點配給を容易ならしむるため第八十一議會の協贊を經て石油專賣を實施、朝鮮に於ても之に照應して石油專賣を行ふべく、鋭意準備中であつたが廿九日附府令を以て朝鮮石油專賣令施行規則、同賣捌規則、同販賣取締規則を公布、七月一日より實施することゝなつた、今回の石油專賣は朝鮮石油統制會社より總督府が全製品を買取り、再びこれを統制會社に賣戾し、これを需要者に販賣するもので、別項賣捌規則に見る如く、賣捌人を分つて元賣捌人(石油統制會社)及び普通賣捌人とし、更に普通賣捌人を第一種(石油各品種の販賣)と第二種(燈火用石油)とに分つてゐるが、これらのものは既存の機構をしてこれに當らしめる、これを要する從來石油の販賣は統制會社の自主的統制に依つてゐたものであるが、今回總督府の手により、これが重點部門への配給を適確ならしめんとするものである、而して統制會社の指定商卅一店をして二郡三郡を單位とし配給を統制せしめ大邑に配給する地區には石油專賣事務所を設置、總督府より技師、技手、屬を駐在せしめることとなつてゐる、なほ今回の取締規則改正の要點は次の如くである

一、從來取締の對象は揮發油、重油に限られてゐたが今回これを石油專賣令施行規則第一條にある各品種に擴大したこと
一、從來道知事が切符を出してゐたが今回總督府でこれを交付す
一、漁業團體の如き主要消費團體に對しては一括して切符を出す
一、從來は切符購入證の讓渡及び讀取を禁じてゐたが、今回はこれを購入現物にまで擴大した

[illegible]軍、英憲兵隊衝突

【[illegible]ーブ廿九日同盟】デリー[illegible]紙の報道によれば、英[illegible]京市において米軍黑人隊が英國憲兵隊と衝突を起し負傷六名を出し、うち一名は瀕死の重傷を負ふたと傳へられる

取締の對象を擴大
切符は總督府より交付

石油專賣令施行規則

第一條 朝鮮石油專賣令第二條の石油は左に掲ぐるものとす
1、炭化水素を主成分とする揮發油、燈油、輕油及重油2、炭化水素を主成分とする機械油又は石油副製品にして朝鮮總督の指定したるもの3、前各號に掲ぐるものの類似品にして朝鮮總督の指定したるもの
◇左に掲ぐる石油は前項各號に掲ぐる石油より之を除くものとす
1、人造石油製造事業法に依る人造石油製造業者以外の人造石油製造業者の製造したる石油2、陸軍又は海軍の命令又は注文に依り製造したる石油にして陸軍又は海軍に於て直接購入するもの4、陸軍又は海軍より使用者に對し直接交付したる石油5、廢油より再製せられたる石油
第二條(略)
第三條 石油製造者は製造場一個所毎に每年四月一日より翌年三月三十一日に至る期間內に製造すべき石油の種類、數量、製造方法並に使用する原料油其の他の原料の種類及數量を記載したる製造豫定計畫を其の年二月末日迄に朝鮮總督に屆出づべし、屆出たる事項を變更せんとするとき亦同じ
第四條 石油製造者石油の製造を休止せんとするときは製造休止の期間及其の事由を朝鮮總督に屆出づべし、石油製造者休止したる石油の製造を繼續せんとするときは其の旨を朝鮮總督に屆出づべし
第五條 石油製造者石油の製造を廢止せんとするときは廢止の豫定時期及其の事由を一月前迄に朝鮮總督に屆出づべし、石油製造者石油の製造を廢止したる時は製造場又は貯藏場に現存する石油の種類及數量を遲滯なく朝鮮總督に屆出づべし
第六條 朝鮮總督は石油製造者の製造したる石油にして朝鮮石油專賣令第五條第一項の規定に依る規格に該當せざるものは之を收納せざることを得
第七條(略)
第八條 石油の賠償價格は朝鮮總督之を定め豫め告示す
前項の賠償價格に付ては製造方法、製造能力、使用原料等を參酌し差等を設くることあるべし
第九條 朝鮮總督は石油製造者の納付すべき石油の容器の規格及包裝の樣式を定むることを得
第十條 石油製造者は朝鮮總督の許可を受け其の製造したる石油を納付前左の各號の一に該當する用途に供する爲消費することを得
1、製造場の自家用2、他石油の原料用3、試驗研究用
前項の許可を受けんとする者は第一號樣式の許可申請書を朝鮮總督に提出すべし
第十一條(略)
第十二條(略)
第十三條 當該官吏取締上必要ありと認むるときは石油製造用材料、容器、器具、機械等の使用を停止し又は石油の試料採取を爲すことを得(以下略)
第十四條 朝鮮間接國稅犯則者處分令に定めたる收稅官吏又は稅關官吏、稅務署長に屬する職務は道警察官吏の發見に係る犯罪事件に在りては道知事、稅關官吏の發見に係る犯罪事件に在りては犯罪事件發見地を管轄する稅關長之を行ふ
朝鮮石油專賣令第二十二條に依り朝鮮間接國稅犯則者處分令を準用する場合には其の施行に關し朝鮮間接國稅犯則者處分令施行規則を準用す
【附則】

第十五條 本令は朝鮮石油專賣令施行の月より之を施行す
第十六條(以下至第廿四條略)

石油賣捌規則

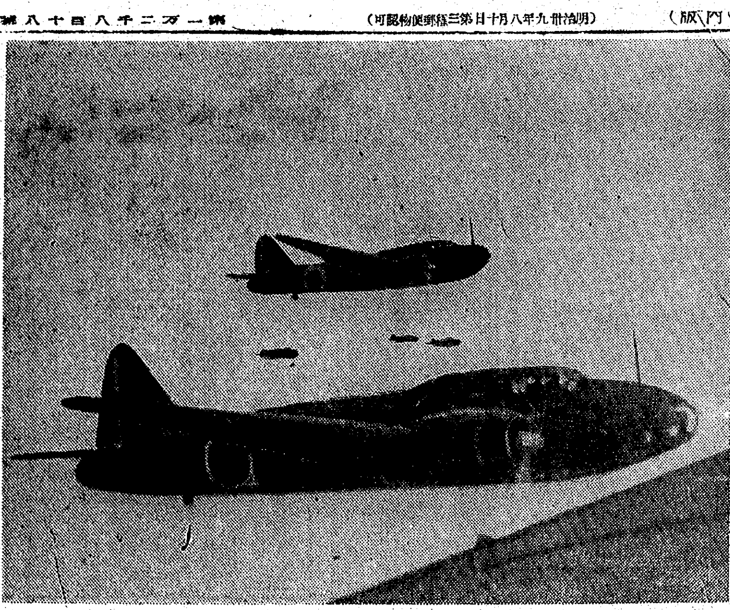
第一條 朝鮮總督は左に掲ぐる場合に限り石油を賣渡すものとす
1、元賣捌人より賣渡請求ありたるとき2、政府より移出の命を受けたる者より賣渡請求ありたるとき3、石油を原料として消費する爲石油製造者より賣渡請求ありたるとき4、官廳より賣渡請求ありたるとき
第二條 朝鮮總督必要ありと認むるときは賣捌人に賣渡したる石油の買戾を爲すことを得
前項の規定に依り買戾す場合の價格は賣渡價格を標準として朝鮮總督之を定む(第三條略)
第四條 石油の賣渡請求者石油の賣渡を受けたるときは直に賣渡代金を納付し現品を引取るべし
但し朝鮮總督は物件賣捌代金延納規則に依り延納を許することを得
第五條(略)
第六條 賣捌人を分けて元賣捌人及普通賣捌人とし更に普通賣捌人を分ちて第一種賣捌人及第二種賣捌人とす、元賣捌人は朝鮮總督より石油を買受け之を普通賣捌人に賣渡すものとす、普通賣捌人は元賣捌人より石油を買受け之を消費者に賣渡するものとす、第一種賣捌人は各品種の石油を、第二種賣捌人は燈火用燈油のみを賣捌くものとす
第七條 賣捌人は朝鮮總督に因り石油を收得し又は第廿二條の規定に依り石油を讓受けたることを得、此の場合に於ては七日以內に其の旨を朝鮮總督に屆出づべし
第八條 賣捌人は必要に應じ元賣捌人に付ては五年以內、普通賣捌人に付ては三年以內の期間を以て朝鮮總督之を指定す(第九條、第十條略)
第十一條 左に掲ぐる者は元賣捌人に指定することを得ず
1、朝鮮石油專賣令第十四條乃至第十六條の規定に依り處罰を受けたる者2、朝鮮石油專賣令第十八條又は第十九條の規定に依り處罰を受け二年を經ざる者3、破產の宣告を受け其の確定したる時より復權の確定するに至る迄の者4、國稅滯納處分を受け又は之に準じたる處分を受け一年を經ざる者5、禁錮以上の刑に處せられたる者又は禁錮以上の刑の宣告を受けたる時より其の執行の確定するに至る迄の者6、第二十四條の規定に依り賣捌人の指定を取消され二年を經ざる者
前項第一號、第二號又は第六號に該當する者は普通賣捌人に指定することを得ず
第一項各號の事實の有無は會社に在りては會社又は其の代表者に付、未成年者又は禁治產者に在りては其の法定代理人に付之を定む、但し其の營業に關し成年者と同一の能力を有する未成年者に付ては此の限に在らず
第十二條 元賣捌人と普通賣捌人とは互に相兼ぬることを得ず
第十三條 元賣捌人が普通賣捌人に對して賣渡す價格及普通賣捌人が消費者に對して賣渡す價格は朝鮮總督之を告示す
第十四條(以下略)

石油販賣取締規則

第一條 本令に於て石油とは朝鮮石油專賣令施行規則第一條の石油を謂ふ
第二條 石油の販賣業者は購入證の呈示あるに非ざれば石油を賣渡すことを得ず、但し左に掲ぐる場合は此の限に在らず
1、左の各號の一に該當する石油を賣渡すとき イ、御料品ロ、官廳用品ハ、軍用品ニ、本邦に派遣せられたる外國の大使、公使其の他之に準ずべき使節若は隨員の自用品又は在本邦外國大使館、公使館若は領事館の公用品2、揮發油、燈油又は機械油を〇、五リツトル以下賣渡すとき3、販賣の目的を以て賣受くる石油の販賣業者に賣渡すとき4、朝鮮石油賣捌規則第二條の規定に依り輸入稅を免ぜられたる石油を賣渡すとき5、外國航行の船舶に燃料油として賣渡すとき6、天災事變其の他已むことを得ざる事由に依り購入證を呈示すること能はざるとき
第三條 購入證は朝鮮總督又は道知事之を交付す
第四條(略)
第五條 購入證の交付を受けんとする者は交付申請書を石油を工場又は事業場に使用せんとする場合に於ては其の所在地を、自動車に使用せんとする場合に於ては其の主たる使用地を、船舶に使用せんとする場合に於ては船籍港の所在地(漁船並に朝鮮船舶籍札規則第一條第一號及第二號に掲ぐる船舶に在りては其の所有者の住所地、朝鮮船舶安全令に於て依ることを定めたる船舶に在りては其の主たる使用地)を、ガソリン機關車、ガソリン動車、ヂーゼル機關車又はヂーゼル動車に使用せんとする場合に於ては私設鐵道又は軌道を經營する者の主たる事務所の所在地を、前條の規定に依る團體に在りては其の主たる事務所の所在地を、其他の場合に於ては其の使用地を管轄する道知事に提出すべし、但し朝鮮總督の指示を受け朝鮮總督より購入證の交付を受けんとする者は道知事を經由して朝鮮總督に提出すべし
前項の申請書には左に掲ぐる事項を記載すべし
1、使用せんとする石油の數量2、用途3、使用設備の概要4、使用期間5、前回交付を受けたる購入證に依る石油の數量
前條の規定に依る團體の場合に在りては前項第一號乃至第四號に掲ぐる事項は團體を組織する者に付之を記載し且團體を組織する者の住所及氏名又は名稱を記載したる書面を添附すべし
第六條 購入證交付の申請は石油使用量の二月分毎に之を爲すべし、但し特別の事由ある場合は此の限に在らず
第七條 購入證は之を他人に貸付又は讓渡することを得ず、但し第四條の規定により購入證の交付を受けたる團體が當該團體を組織する者に對し配付する場合及特別の事由に因り朝鮮總督又は道知事の許可を受けたる場合は此の限に在らず
第八條 購入證と引換へ買受けたる石油は之を他人に讓渡し又は他人より讓受くることを得ず
(自第九條至第十一條略)
【附則】本令は朝鮮石油專賣令施行の日より之を施行す但し燈油及機械油に付ては第二條乃至第十一條の規定は當分の間之を適用せず、改正前の昭和十三年府令第百廿七號第三條の規定に依り道知事の交付したる購入證は本令施行後二月間は仍其の效力を有す

元山、阿吾地、永安に
石油專賣事務所を設置

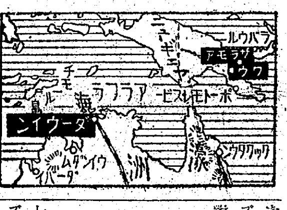
總督府では廿九日附を以て石油專賣施行に關する三府令を公布したが、これと同時に石油專賣に關する事務を分掌せしめるため元山、阿吾地、永安の三ケ所に總督府石油專賣事務所を設置し七月一日より事務を開始することとした



ソロモン敵爆擊行の海鷲(三枚海軍報道班員撮影・海軍省許可濟・第一〇一號)

敵機四十四を屠る
ダーウインとニユーギニヤ 陸鷲、反復猛爆

大本營發表(六月廿九日十一時) 一、帝國陸軍航空部隊は六月廿日及廿二日濠洲西北部における敵空軍基地ポート・ダーウインを攻擊せり、其の狀況次の如し
(一)六月二十日敵戰鬪機四十數機と交戰其の廿七機を擊墜し地上に在りし三機を擊破せる外、兵舍群の大部及飛行場施設を爆碎、數ケ所を炎上せしむ、我方の損害自爆三機なり
(二)六月廿二日戰鬪機隊を以て再び進攻せるも敵飛行機及對空火器共、われに應戰するものなく全機無事歸還せり
二、帝國陸軍航空部隊は六月廿日及廿一日ニユーギニヤ島ワウ附近敵飛行場を攻擊、次の戰果を收めたり
(一)六月廿日ワウにおいて地上に在りし敵飛行機二機を擊破す、われに損害なし
(二)六月廿一日サラモア附近上空において敵戰鬪機廿數機と遭遇、其の八機を擊墜、三機に損傷を與へたり、我方一機未だ歸還せず



今や全く敵影なし
ダーウイン更に強襲

【○○前線基地廿八日同盟】廿日ポート・ダーウイン港大爆擊を敢行したわが陸鷲部隊は廿二日再び戰爆連合の大編隊をもつて同地を爆擊した
敵は前回の爆擊においてその持てる戰鬪力の大半を喪失し全く潰滅狀態に陷つたため空中戰はもちろん地上にも敵影なくさらに地上砲火も全く沈默し、わが大編隊は悠々○○基地に歸還した

米銃後の大騷動
風聲鶴唳で神經衰弱

【ブエノスアイレス廿八日同盟】アメリカのコロラド州の鑛村街グランド・ジヤンクシヨン市民は廿七日午前二時頃突然猛烈な爆發音に深夜の夢は破れた、猛烈な爆發の響きは四散的に午前五時ごろまで續きてつきり敵機の來襲と思ひ込んだ市民達は何れも自宅の地下室に潛り込み不安の數時間を過した、右は附近の操車場で爆彈積込の貨車二輛が爆發しただけの事件に過ぎなかつたのだが、グランド・ジヤンクシヨン放送局がまるで敵襲の如く唸りを生じひつきりなしに爆彈の破片が落ちて來るのが聞えるでせうと實況放送したからたまらない、全市民がすつかり脅え切つてしまつた、さらに市の警察署が火事の警報のサイレンを鳴らすのを誤つて空襲警報のサイレンを鳴らしたので全市は全く恐慌狀態に陷つてしまつた、一方桑港でも怪しい飛行機が現れたといふので廿七日約十分にわたり空襲警報が發令されたといはれるが、六月に入つてから三回目、開戰以來廿九回目の警報に風聲鶴唳に脅えるアメリカの銃後風景を遺憾なく物語つてゐる

食糧長官更迭
ルーズベルトと對立

【ブエノスアイレス廿八日同盟】ワシントン來電=食糧價格統制問題で大統領と意見を異にし辭職を潤してゐた米國食糧長官デービースは二十八日遂に大統領に對し辭表を提出、ルーズベルトは直ちに受理し後任として聯邦巡回裁判所判事マルビン・ジヨーンズを任命した、辭表提出後デービースはルーズベルトの食糧政策に眞向から反對して次の如く述べた
余は食糧價格引下げのために大統領の企圖する助成金政策がインフレーションを抑制し得るとは考へない、助成金政策は必ず增稅が併行すべきであり國民購買力の吸收を行つてこそはじめてインフレを有效に防止し得るであらう
しかして新食糧調整長官ジヨーンズはさきにバージニヤ州で開かれた反樞軸食糧會議の議長を勤めた人物である

米罷業却て擴大
公然と彈壓法に挑戰

【ブエノスアイレス廿八日同盟】ニユーヨーク來電=罷業彈壓法の成立にも拘らずアメリカ東部炭坑の罷業は一向に終熄の氣配が見えないのみか却つて廿八日にはミシガン州ハイランド・パークのクライスラー工場において產業別組織會議系のアメリカ合同自動車勞働組合所屬勞働者約二千二百の新罷業が勃發した
この罷業は罷業彈壓法成立以來最初に發生した罷業である點が注目され、一方炭坑罷業は廿八日に至つて相當大量の復業があつたが、なほペンシルバニヤ、オハイオ、テネシー、ウエストバージニヤ諸州にわたり罷業續行の炭坑夫は十五、六萬の多きに上ると推定された、就中製鋼會社直營の炭坑勞働者の罷業が最も強硬で罷業勞働者は見張線を張つて復業坑夫の炭坑に入るのを妨害し公然と罷業彈壓法に抗戰してゐるといはれる
彈壓法の規定に從へばこれら勞働者は當然刑事犯人として處罰さるべきものだが政府は未だなんらの措置にも出でず彈壓法が果して適用され得るか否か疑問は益々濃厚となつて來た

米大統領海軍豫算案に署名

【ブエノスアイレス廿八日同盟】ワシントン來電=米國大統領は先に上下兩院を通過した總額三百卅億ドルに上る一九四三—四四年度の未曾有の尨大海軍豫算案に署名をした、新豫算は海軍航空兵力の增強に重點が置かれ、二萬七千機の飛行機購入費が含まれてゐる

宋美齡近く歸國

【ブエノスアイレス廿八日同盟】ワシントン來電=重慶政權外交部長宋子文は宋美齡が英國の要請にも拘らずロンドンを訪問せず、近く重慶に歸還する旨廿八日發表した

機動戰熾烈
獨ソ兩軍陣地爭奪に死鬪

【ストツクホルム廿八日同盟】モスコー西方ベリキエ・ルーキ地區を中心とする獨ソ兩軍の陣地爭奪戰は廿七日來北方はホルム地區、南方はデミドフ地區に擴大二百キロにわたる戰線の各地で縱橫に交錯する小河川と點綴する沼澤地帶の惡條件を冒して熾烈な機動戰を展開してゐる
特に赤軍が主力を注いでゐるのはホルム地區で廿八日のソ聯情報局公報は赤軍は一村落を繞り前後六回に亙る獨軍の猛反擊を悉く擊退したと稱してゐるが、獨軍は有力な增援兵力を得て赤軍を強襲、殲滅的打擊を與へ驅逐した

麥類供出の割當量
一日開催 農務課長會議で決定

麥類凶作を克服して次の段階に入つた半島食糧對策は第八十二臨時議會を契機として食糧の專賣と同一內容を持つ國家管理を實施、所定の機構を整へつゝあるが、當面せる本年度產麥類に就ては價格措置を講ずると共に早刈實施等收穫確保を全鮮的に國民運動として展開し、また收穫期の多雨消費及び早喰ひ等には適宜な措置をなして防止確保方を督勵、消費規正と嚴分消費の堅持徹底に集中し、併せて供出體制の準備を終つた
このため政務總監通牒により生產豫想高調查報告を六月十日から廿五日に延期し正確を期したが、大體總數字を得たので一般食糧の需給と併せて七月一、二日の兩日間、各道農務課長會議を開催、道別に現地當局の實情を聽取しつゝ膝を交へて總數字に睨み合せながら各道供出割當數字を決定することゝなつた
かくして消費統制の措置と生產數字の正確化、價格引上等供出措置準備の完了によつて食糧事情の實態に立つた麥の供出を中心に全鮮食糧對策は確立され不動の態勢を整備して十九米穀年度へ入ることになつた

中央農業團體
九月頃實現せん
井野前農相言明

【第一回農業分科會】東亞經濟懇談會朝鮮委員會主催の第一回農業分科會は、井野前農相はじめ、小山農林省食糧管理局總理課長、中西東亞經濟懇談會常務理事臨席、農業分科會委員を中心とする官民七十餘名出席のもとに廿九日午前九時から朝鮮ホテルに開催、穗積委員長および同分科會主査林朝鮮農會長の挨拶に次で演述に入り、小山農林省食糧管理課長より內鮮滿台の食糧需給關係および食糧增產對策について演述、次で鹽田本府農林局長は、特殊性にもとづく半島農業の增產施策について、湯村朝鮮纖維統制社長より朝鮮の纖維作物、纖維の消費趨勢とその增產對策、竹內朝鮮水產開發社長より半島水產業の特色と將來性即ち半島漁業はその地理的優位性に鑑み沿海洲および支那海方面へ進出すべき有望性を強調して演述を終り出席者一同、同ホテルにおける穗積朝鮮委員長招待の午餐會に臨んだ【寫眞=農業分科會】

—◇—

廿九日朝鮮ホテルで開かれた第一回農業分科會席上、石塚米倉社長は內地における農業團體統合の進捗狀況について質問、これに對し井野前農相より
農業團體の統合については、農業團體が強くなれば政府の指導力が弱くなりはせぬかとの杞憂と、一方地方の自治性を破壞する虞れがあるといふ點で當初相當反對があつたが、遂に本春の議會で統合案が通過し目下勅令および府令の制定を急いでゐるので遲くも今秋九月ごろまでには中央農業團體が出來あがることになつてゐる、これによつて食糧の計畫生產と責任生產、農業技術の指導などが一本建てとなるので、今後食糧增產に裨益するところ甚大であらうと確信する
と農業團體統合の方向を明かにして注目された

戰時生活面刷新
地方行政協議會への期待

【東京電話】防空、食糧、教育の問題から最も遲れてゐると考へられてゐた地方行政機構の刷新が決戰日本の決意の下に遂に斷行され、こゝに『地方行政協議會』が全國を九地方に分割して誕生する、戰時文教の打開方法として行政簡素化への一大躍進でもあるが當面の問題として防空、增產配給、教育の戰時生活面に對し新機構が齎す機能を考へて見よう

防空 京濱地區を例に擧げるならば東京、川崎、橫濱と日本の心臟部であるこの一連の都市は單一敵機來襲の場合には府縣の區別なく同時に被害を受けることは想像難くないが、對空襲活動そのものは各府縣知事が防衞司令部から出る一本の指揮命令によつて責任をもつて萬全を盡さなければならない點は從來と少しも變更はない、但し單一被害を受けた場合その復舊活動資材、罹災民の救助などの點では近縣有無相通じて敏速適切な處置が從來よりも一層有效に實施出來る點に大きな期待が掛けられる

增產と食糧配給 食糧の六元 經濟農林省の管轄する部分を見れば今後の大行政區制によりまづ增產の癌となつてゐる勞力の供給がぐつと圓滑にならうとの期待だ、從來でも農繁期になると富山から福井、長野、佐賀から長崎といつたやうに繁忙期の[illegible]を利用して相當數の移動勞働が行はれ、勞力不足を補つて來たが、大行政區制をもつてこれを一括綜合的に按配勘案し農繁期には工場から農村に、農閑期にはこの逆といふやうに活用出來ればその效果は期して待つべきものがあらう、配給部門でも野菜の縣外移出はいかぬ、米も魚も出せぬといつた從來の郡縣主義が一掃され大きな地區を單位とした計畫的な綜合配給實施の確實が考へられる、縣による食糧の不平等は完全に解消するわけだ

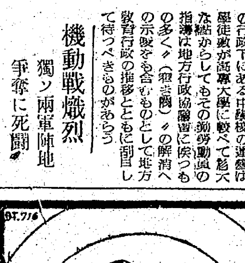
教育 今回の行政機構改革によりさきに發表された學徒戰時動員體制確立要綱に基く各府縣の指導文部運營が必然的に行政協議會の運營範圍內に入り迅速を要する有事即應の學徒動員が圓滑化するものと大きな期待が持たれてゐる、今後にかけられる問題ではあるが指導文部活動は一にかゝつて地方勤勞動員數と地方勤勞地の各地方との均衡配分によりこれが迅速確立こそ決戰段階に對應するものであり、この點地方行政協議會の指導運營が見物だ、また地方長官の行政下にある中學校の運營は學徒數が高專大學に較べて尨大な點からしてもその勤勞動員の指導は地方行政協議會に俟つもの多く〃(狹き門)〃の解消への示唆をも含むものとして地方教育行政の推移とともに刮目して待つべきものがあらう

仲村久慈著 湯地丈雄 B6判 四〇〇頁 價二・六〇 送二〇
國家的長崎事件に奮然起つて全國民を警醒し、自ら元寇の古戰場に起つ… 明治國防の先覺が百萬人の熱血と淚の秘話をめぐつて描く… 仲村久慈氏の面目を躍如たる傳記文學中の白眉(御注文は最寄の書店に)
新刊 傳統について 野口米次郎著 價一・八〇 送一五
中實發 鬼怒十里 諏訪三郎著 價一・八〇 送一五
牧書房 東京小石川 振替東京七二九八五一

朝鮮科學普及協會監修
雜誌 科學時代 2號發賣 定價一部九〇錢 送料四錢 一ケ年六圓也
記念科學館發行
兵器特輯
兵器は活きてゐる……松尾春重
機關銃について……中村晴次
戰爭に用ひる火藥……須藤秀治
アルミニウムの話
有線放送の話
戰時下の營養と營養素
朝鮮に產する寶石(探鑛指針)
新しき日本科學の建設
物象の本質をあるがまゝに直觀せよ
室內模型の造り方
人の身體はどの程度の電氣に耐へるか
し、ら、み、の、は、な、し
一坪農園
其他科學記事滿載
足立 加藤 廣川 木之崎 倉茂 大野 岩越 米倉 小林 田中

東都新刊
朝鮮の農業計畫と農產擴充問題 小野寺二郎著 B6
朝鮮の土壤と肥料 B6
朝鮮農村襍記 B6
東都書籍京城支店 京城府長谷川町九二 振替京城三四四三三番

大陸新戰場
浙贛作戰の記錄
★日本本土空襲!執拗なるこの敵米國の反攻企圖は、その都度かく粉碎されてゐるのだ!
監修 陸軍省報道部
指導 中支派遣部隊
社團法人日本映畫社 中華電影股份有限公司 共同作品
七月一日 白系封切 全鮮順次公開
日映



補血強壯に ビオトニク

陸軍航空本部撰定
索敵行
日の丸はち卷 締めなほし ぐつと擱つた 操縱桿 萬里の怒濤 なんのその ゆくぞロンドン ワシントン 空だ空とぞ 國かけた 天下分目の 決戰場!
(レコード番號 一〇〇七〇〇)
伊藤久男 霧島昇 楠木繁夫 日蓄合唱團
(上面)大空に祈る
ニッチク
コロムビア改め ニッチクレコード

藥石用 粘結用 諸化學用 防水用
高級 ベントナイト
大阪市東區南本町四丁目一八
昭榮商店 電話船場二九一三番
求ム(二十馬力以上ノ工場)
借度(當方直營精製工場ニ使用)

ホシのクスリ
食慾不振 便秘に
空腹ぐすり
完全消化ピルツ劑
澱粉・脂肪・蛋白質を完全に消化し、食べたものを無駄なく榮養化する強力ピルツを主成分とし八ビタミンB・Dその他高單位榮養源を綜合併配せる本劑は、速に食慾を振起し正確なる便通を促します
一ケ月量三〇錠 一圓五十錢
ホシ ゼーロクミ
東京五反田 星製藥株式會社

貯蓄夏の陣 ⑥

神かけて貯金報國

カタコトと可愛い足音が氏神様の石段を登る、手を引いた御婆さんの白い髪やおかつぱの娘の毛を朝風が軽くなぶる、皇軍の武運長久と勝拔くための十二億貯蓄達成を祈願して長いお祈りが終ると『お爺ちゃん、貯金してね……』孫の聲に應じてにこやかに〝神前貯金〟の係員へ差出す、モンペの婦人も少くなく、白衣の半島人も仲々に多い、京城倭城金融組合が昨年九月十五日から京城神社境内で〝神前貯金〟の取扱ひを始めて早くも廿回を迎へた、毎月一日と十五日には敬虔な氏子の參拜で賑ひ貯金の數字も月々增加してきて一日には二百廿一口の一千十四圓五十錢となり累計五百八十口の三萬三千百廿三圓卅二錢といふのが開設以來の成績である、牧田倭城金融組合理事は語る

〝神前貯金〟が府民の意氣に意外に一致して月々好成績を收めてゐます、今一息口數が增加すればと願つてをり、何よりも指導階級の人達が率先範を示して戴きたい、參拜は缺かさぬやう一家交替して必ず參拜して貯金も怠らぬやうにお勸めします【寫眞＝賑ふ神前貯金】

狙ひは重點的生擴
家庭への調整令も近く公布
朝鮮石炭配給統制令を解く

朝鮮石炭配給統制令が廿九日附で總督府から公布されたが、決戰下、超重點産業の一部門として、製鐵、動力源、また原料などに、生産擴充への重大な役割をなす石炭を、その所要の需要確保と配給の適正を期し、戰力增强をはからうとするもので、この配給統制令は對象を大口需要の工場、會社などとしてをり、一般家庭の燃料消費には別に關係がない

この法令の要點を拾ひあげてみるとまづ消費と生産の両面における石炭の公正を圖るためこれまでの朝鮮石炭統制同業組合を解體して新しく國策會社、朝鮮石炭株式會社を設立させる（十月一日の見込）

この會社は法令の配給統制の根幹的規定たる石炭の賣渡業務に關する規定と、會社自體に關する規定より成立するが、その事業として

（一）石炭價格の平準化をはかる例へば同じカロリーによる石炭が朝鮮で滿洲炭廿圓、內地炭廿五圓、朝鮮炭十五圓といふ不合理を調整するため、この三者を一束にして平均化の價格を樹立し、これまで顧みなかつた朝鮮の發展をはかり自給自足への增産陣に拍車をかける

（二）石炭販賣に關する指示權を行使する、これは配給統制に萬全を期するため各業者から石炭を一旦買入れて纒めあげてから更にそれを指定して各業者に賣り捌く

（三）生産の助成＝內地には生産機構に日本石炭統制會、配給機構に日本石炭會社があるのに對し、朝鮮は朝鮮石炭會社をして內地のその二つを一本建にひきうけさせて、生産の資金融通に或は資材配給などの斡旋に生産の助成をなす

なほこの配給統制令とは別途に、家庭などの一般消費者に對する配給統制の圓滑を期する石炭配給調整令が近く公布されるはずである

范公使に叙勲

中華民國京城駐在總領事として多年日華親善に盡力した現國民政府外交部派任所公使范漢生氏の功績を多とせられ、廿九日附勳三等に敍せられ瑞寶章を授けられた

時計の修理は 材木へ

家庭の鑛脈献納
日婦牙山郡支部の赤誠

日婦忠南牙山郡支部員一同は皇軍將兵の尊い敢闘に感激、食器、鍋釜、火鉢等の金屬製品を獻納感謝の赤誠を示さうと各自家庭の鑛脈を掘出した金屬の山を廿九日朝トラツクに積んで代表同會郡支部長北畠氏子さん、同會總務邑支部長林キクノさん、天野日婦牙山郡支部主事ほか二名が海軍武官府を訪れ武市少佐を通じて獻納の手續きをとつた、なほ同婦人會員が田植や麥刈りの勤勞奉仕で得た金百圓と同郡神井國民學校生徒が田植作業を手傳つて得た金百三圓計二百三圓を航空機基金として獻金した【寫眞＝獻納する牙山婦人會】

旅行の目的、行先？
鮮鐵で輸送對策に乘客調べ

貨客の決戰輸送の對策に心理を碎いてゐる鮮鐵京城地方局では旅行調整を計るため釜山地方局の協力を得て七月一日から三日間に亘つて京釜線列車內で、又同五區から三日間は同線主要驛で乘客の旅行目的と行先を調査する、これは地區別に旅行者の目的と旅客の流れを調査して將來の旅客輸送對策に資するもので上り列車は京城地方局、下り列車は釜山地方局の各鐵道係員が出動し一人洩れなく旅客に旅行目的と行先を問ひ合せるもので兩地方局では一般乘客はありのまゝを申告して資料調査に協力を希望してゐる

半島農報隊は學ぶ
內地派遣報告記

【松本郊外滿蒙開拓訓練所にて村岡特派員發】朝鮮農業報國青年隊員が去る五月廿五日長野縣に配屬されてより半月、農家に、篤農家に家族の一員として寢食を共にし暖かき家庭から湧き出る日本精神に觸れ、農とともに起き拔けて先進的營農法を習得、身を挺して決戰食糧增産への烈々の闘魂を培ひ內地人に伍しあがつた半島青年の熱と意氣を植ゑつけて半島明日の輝かしき姿に絶對の信頼を呼び覺まし多大の成果を收めてなほ敢闘する青年隊員の勞苦に對し併せて指導者責任の班長の勞を犒ふ意味で長野縣經濟部では記者（村岡特派員）の訪問を機に班長會同を求め松本郊外淺間溫泉で座談會を開き相互間の希望意見を開陳し殘る奉仕期間に對し萬全の備へを固めるとゝもに內鮮一魂完勝への誓ひを新たにしたのであつた、發言の大要は次の通りである

座談會出席者

◇長野縣經濟部長原保雄氏◇同農政課長笹本忠恕氏◇同農政課技師森本信也氏◇同農地協會主事市村徳男氏◇同農政課屬市川兼氏◇松本地方事務所技手小野英蔵氏◇同島內村々長高山榮氏◇平北班長早坂三郎氏（同野村配屬）◇江原班長梅木利男氏（飯島村配屬）◇咸南班長永田武爾氏（島內村配屬）◇咸北班長（中堀田村配屬）◇本社村岡特派員◇於淺間溫泉

原部長 半島からの班長の皆様隊員諸子に大變な御勞苦を戴きゐるのですが、長野縣としてはこよなく喜んでゐるのです、ここに京城日報からの派遣記者の來訪を機に各班長、現地役員、或ひは我々縣側からそれぞれ朝鮮側に連絡披瀝して戴き度い、まづ受入側の高山さんから

高山榮氏（島內村長） 最初にどんな氣風の青年が來るのかと實は十分な知識がなくて案じ、また配屬農家の選定に苦心し選びに選んで篤農家、精農家、名譽家に配屬配置したが隊員を最後に歡迎に迎へて不安を一掃しました、實のところは想像と反して、これでは內地人青年がぼやぼやしてゐると恥をかくのではないか知らぬとの感すら持つほど確りした中堅青年なのには驚いた

培へり烈々の農魂
この腕半島增産陣へ

永田武爾氏（咸南班長） 隊員たちの感想を綜合するとなかなか面白い結果が出てゐる、まづ感動してゐることは女、子供が一人前の男に負けぬ働きぶりをすることや特に七十五歳から八十歳の老人が野良に出てきて、また篤農な家庭の老人婦女子が働いてゐるのを不思議に思つてたづねると〝働くのは人間の使命だ〟と說かれて半島人と內地人との人生觀が大いに違ふと感心してゐる隊員がある、また誰でも然も而も一緒に働くのは驚いた、明けても暮れても遠ゝも眞強くしかも夜を徹して働く內地人の勤勞ぶりの眞精神は隊員には最初なかなか理解出來なかつたやうだ

永田班長 隊員は一番に牝牛、役馬の御法がうまいと言はれる、ところが或る日一頭の朝鮮牛が來たので早速隊員が鋤を使ひこなしてた、どうしたことかこの牛がどうしても動かない、その隊員は、この牛は內地へ來て言葉が違つたのだ、內地人は皆牛でも馬でも大事にし過ぎる、牛は人間に使はれるために生れて來たものだといつてゐるを聞いた

原部長 私は島內村、錦部村、村岡野村と現地農村を巡回して、隊員に感謝し激勵して來たのであるが配屬の農家は半島に對する認識を改めて大變に喜んでゐる、配屬の四ケ村は何れも標準農村である、しかもこの中で內地人青年と半島青年がうまく融合つてゐるのはまことに麗しいものがある

原部長 熱血の隊員たちは今三四日殘つて働き度いと言つてをり、農家も殘つて貰ひ度いと言つてゐるが兩者の〝この氣持〟こそ實に好成績をあげてゐる證據だ

梅木利男氏（江原道班長） 我々指導の方で手分けて隊員激勵の陣頭指揮には感謝する、隊員の言葉を要約すると、土地の利用が多角的である、麥に藥品を撒布し乘物的である、苗代は形の上から見ると朝鮮の方が整つてゐるが、農家の指導をうけて見ると個人々々でよく研究してこの結果になつてゐるのは感心だ、朝鮮も上からいはれる通りでなく農民はもつと自分で勉強して上からの指導をまたねば駄目だ、配給機構が完備し、何等の不平を言はないのはよい。ある年寄の方が、これは朝鮮の青年と思へぬ孫が戰地から歸つて來て働いてゐるのだと涙を流して喜んでゐるための取つて置きの野良着を着せて貰つて働いてゐるのは美しい心情だ、青年團の組織が完備してゐると感心してゐる

松田讓一郎氏（咸北班長） 私のところの隊員にも同樣涙を流ふ時着る着物を着せて貰つてゐるのがあるが記念のため寫眞を撮つて驚くとかやつてゐる、神社が多く敬神崇祖の念が厚くて皆親切だ、モンペが徹底してゐるのを半島の婦人に見せ、これでゆくのだと教へてやり度いと言つて歸つて朝鮮の婦人に見せ、中等學校の卒業者が郷里に歸つて百姓をしてゐる、協同の精神が強くて共同苗代、旱害防除信用組合が發達し何でも各戶が責任を負つて處分してゐるのが羨ましい、我々青年だけが內地で勉强しても駄目で來年からは女子青年隊員を派遣して實験させねば朝鮮の農村は一氣に飛躍發展しない【終】

福運も交るご奉公
あす割增金附定預締切

福運を樂しみながら貯蓄報國の奉公の出來る割增金附定期預金は卅日をもつて終る、去る十六日から全鮮一齊に進軍の火蓋を切つた十二億貯蓄達成強調運動に先立ち全鮮の各銀行、金融組合、信託會社、東拓など金融機關で取扱ひを開始した割增金附定期預金は貯蓄增強への一翼をになひ、非常な成績をあげて卅日締切、貯蓄強調運動と共にその預入れを終るのであるが、總督府財務局では卅日の一日しかないこの最後の日を大いに利用して應募することを慫慂してゐる

預入金額は一口百圓以上、割增金は十圓、百圓、千圓、一萬圓の四等級に分れてをり、當籤數は特等一萬圓が廿萬口につき一個、一等千圓が十萬口に八個、二等百圓が十萬口に五十個、三等十圓が十萬口に千個の割合となつてゐる

皇軍に慰問袋
日婦の赤誠

【順天】郡內豐岩面日婦支部では第一線に死鬪する皇軍將兵を慰めるべく慰問袋廿個（一個當六圓相當）を製作して獻納した

尾崎翁再喚問
上告審で事實審理

【東京電話】議會最長老元法相代議士尾崎行雄氏（八十七）に係る不敬事件の上告審は、大審院刑事三部三宅裁判長、植田檢事係で審理中であつたが、廿九日午前十時半裁判長から事實審理開始決定の宣告があり、改めて尾崎翁を法廷に喚問取調べることになつた

事件は昨春の總選擧に東京府第三區から立候補した田川大吉郎氏の應援演說の際、不敬の言辭を弄した廉で不敬罪に問はれ、一審では懲役八ケ月二年間執行猶豫の判決言渡を受けたが不服で上告したものである

『水』の大評定開く
水道協會支部總會

第一回水道協會朝鮮支部總會は廿九日午前九時から京城府民館で開催、國歌奉唱に次いで支部長古市京城府尹の挨拶、司政局長代理、山田技師の告辭あつて午前中を終り午後一時半から總會議事に入つた

賀田京城府水道課長の會務報告の後、提案事項の協議を行ひ最後に總會の中心議題である水道用資材の鮮內自給對策の基本計畫並に生產手段の早急確立に就いて打合せ懇談をとげ、本府國岡、萩野兩技師の特別講演あつて午後五時第一日の總會日程を終つた

第二日は卅日は午前九時から開會午後一時會議を切り上げ第一、二班を編成して京畿道內の水道狀況を視察する、第一班は鷺梁津水源地、道工業用水、上道町淨水池、第二班は九宜洞水源地、丸宜洞水場

杉田華北保險協會長通過談

【釜山電話】華北保險協會々長杉田久氏は廿九日朝釜山通過急行「大陸」で北行したが次の如く語る

北支方面においても聖戰完遂のため貯蓄熱が非常に昂り貯蓄を通じて日華親善が進められてゐる、北支の一年間の保險支拂高は四千萬圓に上り、うち三千五百萬圓は日本系會社に加入してをり殘り五百萬圓は支那、ドイツ、フランス、スイスである、事變前まではその九割以上が英國會社に加入してゐたが英國は保險事業といふ看板の陰で阿片コカインの密輸等を行ひ、その他ありとあらゆる惡辣な手段で支那民衆の膏血を搾取してゐたことが今日になつて如實に暴露され怒め付けられてゐた民衆もその惡德振りに啞然としてゐる

松炭油に學童一役

【新浦】迎日郡では時局下重要な重油代用の松炭油製造に瓦斯用木炭製造に伴ふ松根の廢枝、廢株一千六百廿噸の採取計畫を樹立、郡下十三ケ所に窯四十五個を設置して六萬七千六百八リツトルの松炭油を生產に取りかゝることとなつたが、郡ではこれに先立ち生產擔任者を招集して去る廿日より廿日間の豫定のもとに本部製油所有林で製造法の講習會を開く一方各邑面に採取勤勞をなし管下國民校の學童を動員することとなつた

早や百二名
海兵志願者

【進永】半島に輝く海軍特別志願兵制度の實施の報が布かれるや金海郡進永地方における半島青少年の海軍熱は潮の如く高まり志願者は陸續と申出られつゝあつて廿八日正午迄に同地駐在所に志願した者は百二名に上つた

けふの市況（廿九日）
株式鈍調 中京株高し

前後場を通じ月末關係等々好材料薄のため、新規商內は手控へられて場面閑散氣乘薄く、中京方面の事業株を除いては諸株とも鈍調を呈した、中京方面の昭和重工、大阪鐵工などは著しく出遅れてゐる關係から思惑筋を買はれ、こゝ連日に亘つて一圓方買はれてゐることは注目を惹いた、なほ短期は高周波五十三圓九十錢から三圓四十錢と一服模樣を呈し遊仙鑛業六十二圓五十錢手堅く保合、小林七十六圓四十錢、新興七十三圓四十錢と保合ひ商狀を呈した

後場（遊ぶず）引續いて新規は見送りの形で諸株とも殆ど遊らずを示した

『實物』保合

越月待ちに新規商內乏しく概ね整理商內が行はれ、諸株とも殆ど保合ひ商狀を呈した、投資筋の態度も消極的で目先いづれかの動機がない限り保合ひ離脫は困難の形勢である、主なる出來値左の如し

商銀三新一七圓二▲京南四〇圓一▲小林七六圓一▲遊仙六二圓四▲高周波五三圓七一三圓〇▲國產車一五圓九一六圓〇▲朝鮮理研三八圓三一二一八圓〇▲滿業新一八圓五一三▲滿洲煙草九九圓五一七▲川崎重工新二六圓〇▲大阪製鋼九七圓一▲朝陽四圓三一二▲朝鮮機械七四圓九一五圓一

高周波見直せ
純然たる投資株

高周波の五十三圓擱みにはヤレヤレ的な手詰め賣物があつて騰勢一服の態であるが、これがため一層將株の買氣を助長してゐるやうである、だがこんどの騰勢が單なる市場內部的な仕手關係によるものであるか、それとも高周波自體の本質を買つてゐるものか、疑問を抱いてゐる向きが少くないが、確聞するところによれば從來とは趣きを異にしてゐる、即ち當社は前身の城津工場の第一期工事が昨年度の切替へ等々その他いろいろな支障によつて業績が惡化してゐると言ふことは否み難い事實だが、さうかといつてこれを以て將來を律することは當らない、當社は技術陣の刷新導入によつて現在の城津工場の設備においての今期は相當な決算面が得られることは間違ひなく、これは本年四月に高速度鋼の五分方の賣上げ値引上げは賣約定關係で前期は殆ど影響がなく、むしろ今期に期待するところが大きい、資材方面も特殊筋が積極的に援助してゐるだけにそこに信頼性がまたあるわけである、目先的な材料としては未だ發表の時期に至つてゐないが、特殊鋼に關する世界的な發明が完成したものゝ如く、これは相當の地位にある斯界の權威者である、かうなるとむしろ高周波は目先的な思惑よりも長期的な純投資株として見直すべきであらう

大麻增産各郡の割當量決る

【春川】道名産物の大宗たる大麻は今春播種期から五百萬斤の供出增産確保を期して官民一體の總力を大麻增産に傾注して、その後の成育至極順調に進みつゝあるが、各郡別の割當供出量は左の如く決した（數位萬斤）

春川廿五▲麟蹄廿五▲楊口十六▲淮陽四十▲三陟十七▲旌善十九▲平昌四十一▲寧越七▲原州五▲横城廿▲洪川十四▲華川十二▲金化五十▲鐵原六十五▲平康六十▲伊川八十五

株式（廿九日）

朝取短期

銘柄	前寄	引	高	安	後寄
高周波	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遊仙	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
マグネ	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小林	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株長期

銘柄	前寄	後寄
高周波	七三・〇	九五・六

現株仲値（廿九日十一時調）

漢水電 [illegible]	東拓 [illegible]	同新 [illegible]	帝人 [illegible]	昭和飛 [illegible]
京電 [illegible]	同新 [illegible]	日毛新 [illegible]	同新 [illegible]	ディゼ [illegible]
同新 [illegible]	米市場 [illegible]	◆鑛業株	同新 [illegible]	東洋ベ [illegible]
西鮮電 [illegible]	◆大陸株	北樺炭 [illegible]	日ビス [illegible]	◆船舶造船
同新 [illegible]	滿工廠 [illegible]	昭和礦 [illegible]	國際船 [illegible]	東洋船 [illegible]
朝水 [illegible]	同新 [illegible]	同新 [illegible]	川崎重 [illegible]	同新 [illegible]
◆鑛業株	日滿ア [illegible]	石原產 [illegible]	川南 [illegible]	同新 [illegible]
小林鑛 [illegible]	同新 [illegible]	同新 [illegible]	石川島 [illegible]	同新 [illegible]
無煙炭 [illegible]	鞍山鋼 [illegible]	新至誠 [illegible]	同新 [illegible]	二同 [illegible]
同新 [illegible]	撫順鉛 [illegible]	北樺油 [illegible]	三菱重 [illegible]	◆製糖株
三防 [illegible]	同新 [illegible]	昭和油新 [illegible]	台灣製 [illegible]	同新 [illegible]
日マグ [illegible]	滿洲煙 [illegible]	帝石新 [illegible]	日窒 [illegible]	◆電氣瓦斯
製鐵 [illegible]	華北煙 [illegible]	◆化學工業	同新 [illegible]	東京電 [illegible]
遊仙鑛 [illegible]	滿洲鑛業 [illegible]	日窒 [illegible]	電化 [illegible]	同新 [illegible]
國東炭 [illegible]	中華鑛業 [illegible]	同新 [illegible]	同新 [illegible]	關東電 [illegible]
三國 [illegible]	東亞煙 [illegible]	日曹 [illegible]	日產 [illegible]	關西電 [illegible]
同新 [illegible]	同新 [illegible]	同新 [illegible]	◆重工株	◆製紙製粉
朝陽 [illegible]	北支開 [illegible]	大同鋼 [illegible]	小倉鋼 [illegible]	王子紙 [illegible]
◆重化工業	中支振 [illegible]	同新 [illegible]	ニッケ [illegible]	日清粉 [illegible]
高周波 [illegible]	大同產 [illegible]	神鋼新 [illegible]	昭和電 [illegible]	同新 [illegible]
朝重工 [illegible]	新京開 [illegible]	日立新 [illegible]	日輕金 [illegible]	日本粉 [illegible]
弘中 [illegible]	滿ベル [illegible]	石井鐵 [illegible]	同新 [illegible]	◆諸株
同新 [illegible]	鐘ベル [illegible]	新潟鐵 [illegible]	池貝鐵 [illegible]	三菱商 [illegible]
朝機械 [illegible]	◆內地株	◆紡織株	日東紡 [illegible]	同新 [illegible]
國產車 [illegible]	日東紡 [illegible]	同新 [illegible]	日清紡 [illegible]	鐘紡 [illegible]
朝石油 [illegible]	日清紡 [illegible]	日紡 [illegible]	◆人絹株	東レ [illegible]
同新 [illegible]	倉絹 [illegible]	同新 [illegible]	日本レ [illegible]	八幡 [illegible]
北鮮紙 [illegible]	東鮮金 [illegible]	朝理研 [illegible]	◆諸株	朝開拓 [illegible]

後三國志

吉川英治（作）　矢野橋村（繪）【182】　出師の卷

八陣展開（二）

『よろしい。……つておく』

孔明は、宣言して、

『まづ、汝から一陣を布け』

と促した。

仲達は馬を回して、中軍へ馳入り、黄の旗を振つて、兵をうごかし、各隊を分配して、すぐ戻つて來た。

『孔明、いまの陣立てを知つたるか』

『笑ふべし。蜀軍の士は、大將ならずとも、それくらゐな陣形は誰も存じてゐる。すなはち混元一氣の陣と觀る』

『然らば、汝も一陣を布いてみよ。仲達が見物せむ』

孔明は車を中軍へ曳かせ、羽扇をもつて一たび招き、又、車を進めて來た。

『仲達見たか』

『兒戲にひとしい。いま汝の布いたのは八卦の陣だ』

『なほよく是を破り得るか』

『何の雜作もない』

『さらば寛つてみよ』

『すでにその陣組を知るもの豈何で打破の法を知らずにゐるようか。見よ、わが鐵陣の指揮を』

仲達は直ちに、戴陵、張虎、樂綝の三大將をさしまねき、その法を授けた。

『いま孔明の布いた陣には凡ツの門がある。名づけて休、生、傷、杜、景、死、驚、開の八部とし、うち開と休と生の三門は吉であるが、傷と杜と死と景と驚との五門は凶としてある。すなはち東の方の生門、西南の休門、北の開門、から三面より打つて入れば、この陣かならず敗れ、味方の大勝を顯はすものとなる。備へて、怠るな、汝らこのとほり打つてかゝれ』

と、きびしく命令した。

魏の三軍は一せいに鼓を鳴らし鉦を勵まし、八陣の吉門を選んで猛攻を開始した。けれど、孔明の一陣々々は不思議な變化を八門の陣に呼んで、攻めても攻めてもそれは連城の壁を繞るが如く、その內陣へ突き入る隙が見出せなかつた。

このうちに魏軍は、重々疊々と諸所に分裂を來し、戴陵、樂綝とほか六十騎は挺身してつひに蜀の中軍へ突入してゐたが、あだかも旋風の中へ飛び込んでしまつたやうに、濛靄々々と、度を失ひ、こゝかしこに射立てられて吶喊する味方の騒亂を感じるのみで、少しも統一がとれなかつた。

のみならず氣がついたときは、樂綝、戴陵以下六十騎は、完全に捕虜となつてゐた。軍鼓を壓縮されて、武裝解除を受くるの地位に立つてゐたのである。

孔明は、車から一喝して、

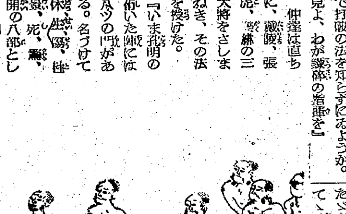
『これは當然の結果で、べつに奇妙とするにも足らん。解き放して魏軍へ追ひ返してやれ。汝等は又、司馬懿によく申し傳へよ。――かかる凡庸な戰法を以て、いづくんぞ我が八陣を破り得べき。も少し兵書を讀み、身に學問を加へよ』

と

戴陵、樂綝たちは恥ぢ入つて、孔明の姿も仰げなかつた。

孔明はまた云つた。すでに一人でも我が陣內を踏みにおつた事は無興である。生命を取るにも大人氣ないが、たゞこのまゝ返すも腹が癒えぬ。皆人共六十餘名の大刀、物の具を剝ぎ取つて赤裸になし、顏に墨を塗つて陣前より離して追ひ歸しては返すべしーと。

司馬懿はこれを眺めて烈火のごとく怒つた。樂綝、戴陵などに加へられた辱めは、云ふまでもなく自分への嘲弄である。われこの所に出て隱忍持久、敢て寸戰小利をねがはず、今日孔明と會すや、まづこの絕大なる恥辱をうけ、何の面目あつて魏の人に見えむ。この上はたゞ身を鼓なり諸軍もいのちを捨てゝ戰へ。それあるのみと、彼は



みづから劍を拔いて、左右百餘騎の大將を勵し、麾下數萬の兵力を一手にあはせて、大山のおめき崩るゝごとく、蜀軍へむかつて驀然の勢に出た。

ところが、このとき、はからざる後方から、味方の軍とも思はれぬ旺な喊聲と攻め鼓を聞いた。ふり顧つてみると、砂塵濛々として、こなたへ迫る一大部隊がある。

『しまつた』

仲達は絕叫して、にはかに指揮を更へたが、迅雷はすでに魏の後方を衝いてゐた。いつのまにか迂回してゐた蜀の姜維、關興の二將が喚きこんで來たのである。

登記公告

[illegible]

國策投資 安定資產株の推奨
1、日本發送電株式（五拾圓拂込濟） 時價五十二圓五十錢 配當六分 利廻五分七厘一毛
2、滿洲電業新株式（二十二圓五十錢拂込） 時價二十八圓五十錢 配當七分 利廻五分五厘二毛
野村證券京城支店 電本八三五一番

頑症の水虫に
鬼殺し・鬼疫にききめ強く強力な殺菌力と共に抗黴力の强化、旺盛なる代謝機能の亢進相乗効果顯著にして下記諸病に對し著効を奏す
發賣元 [illegible]
スクッミカ 外用
[illegible]

大映東京大作 マライの虎
俠盜ハリマオの南方大活劇！惡辣英國を薙倒す復讐の鬼となつた日本男子の熱血篇！
演出 古賀聖人
中田弘二・國分ミサヲ　南部章三・浦邊粂子　大井正夫
一日封切
京城劇場　京城寶塚劇場

短期 現株 福 ●營業案內贈呈● 吉村取引店 京城黄金町二丁目 電話本局②8101

短期 現株 内海淸藏商店 京城明治町三

高 有價證券 株式會社朝鮮取引所一般取引員 高橋國基商店 京城府黄金町二丁目一九九 電話本局三一六〇一・〇四五六

精力强進劑として卓抜なる効果を發揮する！ ク 茸 ト ニ 社會式株藥製堂善

笹虎製品 頭痛に一 一億總進軍の秋です！いつも頭腦をハツキリして、明日の決戰生活に備へませう 錠・散・劑 定價 二〇 三〇 五〇 一円 二円 總發賣元 株式會社笹虎商會 大阪市東區 ノーメイ 素明脳

公開の川西機械製作所株！ 當社は川西航空より分離獨立したもので航空機部品、風洞テンピン其他各種電機機器、通信機器其の他電氣部品などを製する重要會社である 二五圓 發明 田原株式店調査部

月やく とゞこうりお困りの方や御心配の人 中尾本家

健全投資の鍵 健全投資法としての長期清算取引利用は實物化時代の要求せる機構なり 詳細は御申越次第說明書進呈す 白井取引店 京城黄金町 電本局二一六二

六月新譜 歌謠曲 南國の馬車 アリューシャンの春 立花ひろし唄 ぜひ御試聽下さい！ 富士音盤（キングレコード改め）大日本雄辯會講談社發賣

岐阜提灯 京すだれ 硝子器 三中井